

三商団窓会報



No.54

ホームページアドレス

<http://tcsaa.jp/>

平成27年7月1日発行



Picture by KENJI MIZUKAMI The 26th class

あなたに届けたい心と体の健・幸・美

DMJえがお生活®

日々、健やかで元気に暮らせることって、何よりも幸せ。ご家族が笑顔で結ばれます。DMJ えがお生活は安心と安全を第一に、高品質な健康サプリメントを提供しています。

元気をつなぐ。

笑顔をつなぐ。

DMJ企業グループは健康食品事業、通信教育事業、通信販売事業など多岐に渡り、各種商材をテレビ、新聞、雑誌、カタログ、インターネット等の様々な媒体を通して、お客様の豊かな生活を提案しています。

DMJ
DIRECT MARKETING JAPAN CO.,LTD.

企業グループ

- 株式会社 ディーエムジェイ
- 株式会社 全日本通教
- 株式会社 全日本通販

取締役会長 西方勇雄 【第29期】

【販売実施名称】

- DMJえがお生活
- 日本カルチャー協会
- 日本進学指導センター
- 日本資格教育センター
- 日本能力科学アカデミー
- 日本ヘルスアカデミー
- 日本芸術アカデミー
- 日本天翔堂

DMJ市ヶ谷本社ビル 〒102-8617 東京都千代田区九段南3-5-9
TEL.03-3288-1311 (代表)

三商会館が完成いたしました

第31期 三浦康二

東京三商会館はみなさんもすでにご承知の事と思いますが、ここで簡単に概要をお知らせしておきたいと思えます。

三商同窓会と深い繋がりのある創立50年の公益財団法人「東京三商会」が50年の悲願でもありました会館の建設が昨年の初頭に決まり、11月に目出度く江東区牡丹1丁目の門前仲町駅より5分くらいの地に竣工いたしました。既に11月29日には竣工間もない会館の3階をおかりして同窓会の総会を盛大に開催



することができ、集いました同窓生の感激は一同喜びがかくしきれない程でした。

会館は4階建てで、3階が多目的ホール、4階が事務所となっており事務所には「岩瀬氏」、「白石さん」が勤務しております。同窓会の事務局もここにあります。既に今日に至るまでに3階の多目的ホールは多くの団体、同期会、OB会、クラス会等で活用されておられ皆さんに喜ばれております。正面玄関の右

側には会館建設を記念して赤の花咲く「はなみずき」が植樹されております。赤の色は三商卒業生の7割が近年女性のために赤色としました。今年の春に最初の花が咲きました（写真）。はなみずきの花言葉は「私の思いを受けてください」です。

三商会館に訪れる皆さんを「先輩や同期や後輩」からの思いを受けて下さいとはなみずきが玄関前で歓迎をしております。その横には植樹を記念して立派な立て看板があります（写真）これには岩瀬同窓会会長の書による「財団法人東京三商会設立五十周年記念、三商同窓会創設八十周年記念」と書かれております。又この立派な看板は細田木材様からの寄贈によるものであります。



どうかこれからも皆さん三商会館にお立ち寄りの際にはご見学のほどよろしくお願い申し上げます。



3階多目的ルーム



正面エントランス

※会館の利用については本誌27ページをご覧ください。

三商同窓会報 第54号 CONTENTS

三商会館完成報告	三浦副会長 01	三史会	第26期 栗原啓右 09	最後の投資、人材育成!	第29期 西方勇雄 21
第22回東京校歌祭報告	02	—同期会・クラス会開催案内—	10	人生いろいろ 数字もいろいろ	第22期 荻野弘康 22
—ご挨拶—		—同窓会活動報告—		矢島幸先生絵画展に参加して	第19期 木戸隆吉 23
岩瀬同窓会長・中山学校長	03	定時評議委員会報告	11	佐藤義美記念館を訪ねてきました	第19期 中野貞三 23
三浦副会長 (何を求めるのではなく何かをできないか)	04	26年度活動記録	12	—三商 Information (母校の今) —	25
—同期会・クラス会開催報告—		26年度会計報告	14	—東京三商会について—	26
第25期	当麻 隆 05	27年度収支予算	15	—三商会館3階利用規定—	27
第26期	古田勝一 06	27年度事業計画案	16	利用状況報告	28
第19期	森 莞 06	同窓会会則改定案	16	—同窓会ホームページご案内—	29
第20期	河原啓介 07	—同窓生の投稿・エッセイ—		—校歌・応援歌—	30
第28期3年2組	岩本榮輔 08	山を想えば・・・	第25期 根本良一 17	事務局連絡先・奥付	30
第22期3年6組パッション会	斎藤 稔 08	三商放送部の生い立ち	第19期 木戸隆吉 18		
—有志の会活動報告—		裁判員制度六年	第28期 田端 彰 19		
放送部卒業生の会	第30期 近藤若三郎 09	卒寿を生きる	第10期 荻野文雄 19		
文責	第25期 根本良一	昭和二十年三月十日	第23期 三矢和久 20		

表紙の絵
時の旅人 ~ イタリアの小さな田舎町で (水彩)
作者 水上健二 第26期

第22回東京校歌祭

はじめての杉並公会堂での開催はあいにくの雨模様

・・・しかし、今回は強力な助っ人が!!



22回を数える東京校歌祭に、今回も都立第三商業高等学校として、大勢の皆さんにご参加いただけました。
 前回は、百四十一人と大所帯で最後の日比谷公会堂での校歌斉唱に挑み、その勢いで同窓会80周年も盛大に執り行われました。
 今回は、立地も馴染みの薄い方が多い都区内西部の杉並公会堂に舞台が変わり、なおかつ当日はかなり強めの雨が朝から降り続いていたので、どれだけの人達が集まってくれるかと心配でしたが、それでも64名の参加者が集まりました。
 そして、その中には現役三商生六名と先生二名が参加してくれました。
 特に音楽教諭の数藤先生にピアノ伴奏をしてもらい、いつもはその大人数ゆえか、若干テンポが怪しくもある我が三商混声団



あいにくの悪天候、勝手の分らない杉並公会堂と、不安も多かったですが、現役生六名の心強い助っ人たちの参加と、ピアノの生伴奏が功を奏して、素晴らしい校歌祭となりました。改めてご参加いただいた河原田先生、数藤先生、一緒に歌ってくれた六人の現役三商生の皆さんにお礼を申し上げます。

が見事な一致団結で、校歌と応援歌を高らかに唄いきりました。
 ピアノの生演奏による伴奏で、歌っていた同窓生の皆さんも、気持ち良く歌えたと大喜びです。
 テンポが合ったのには理由があります。同窓会役員を中心に事前に三商の音楽室で校歌・応援歌の練習日を設け練習した事と、伴奏のリズムに関しても意見を出し合い、数藤先生に調整してもらっていました。さらに杉並公会堂でも、待合室となったグラウンドサロン室がピアノ付きの立派な部屋で、ここでも数藤先生の伴奏で、参加者全員揃って直前練習が出来たからなのです。
 今回は第二番目の出演と言う事で、看板を持って各校入場にも参加しました。左から二番目に緊張した面持ちで立つのは28期小林副会長です。



同窓の仲間と共に歌いませんか。今年も多くの人のご参加をお待ちしております。

第23回校歌祭 実施詳細

日時 平成27年11月3日(祭日)
 11時30分集合(出演13時03分)
 場所 杉並公会堂(杉並区上荻1-23-15)
 1階エントランスに集合

参加者には些少ですが交通費を支給します(千円) 服装を男性はダークスーツ、女性はそれに準ずる服装で揃えたいと思います。

終了後反省会を予定しております。(会費三千円) お申し込みは同窓会事務局までファックス、メールでご連絡ください。

ご連絡先は30ページをご覧ください。



上部の写真は校歌を、左は応援歌を歌っている様子です。
 歌い終わった後は、恒例の反省会を公会堂近くの居酒屋を貸し切り行われました。若き日の思い出が甦る校歌・応援歌を

と
換
抄



同窓会会長
第26期 岩瀬和子

風薫る頃になりました。同窓生の皆様いかがお過ごしでしょうか。

異常気象のせいでしょうか、三寒四温の温度差が激しく北海道が沖繩より気温が高いなど、体調を崩された方も多かったのではないのでしょうか。そういう私も風邪を長引かせてしまいました。熱はなくお医者さんの薬を飲んでいながらです。年のせいでしょうか。

昨年の同窓会報に掲載しました、公益財団法人東京三商会の「三商会館」が昨年十月末に完成いたしました。

一、二階は賃貸物件です。三階は多目的ホール、四階は事務所となっています。三階ではすでに剣道部、テニス部のOB会が開催され、クラス会にもいくつかの世代で行われております。

二十九期の田中稔さんが、葛西での「開花亭」をはじめいくつかのレストランを経営されており、そちらにケータリングを何度かお願いしております。ぜひクラス会、OB会にご利用ください。(お問い合わせは同窓会事務局に連絡してください)立食形式で40人程度、着席ですと30人弱の人数でご利用いただけます。

クラス会や同期会の打ち合わせ、準備にもご利用ください。話は変わりますが、母校が都の教育委員会より平成二十七年度「言語能力向上拠点校」の指定を受

けました。大変喜ばしい事です。そこで校長先生より正門脇に垂れ幕を同窓会で作成してくれるようお願いされました。

一年間掲示される予定です。母校の前を通られる機会がありましたら、ぜひご覧になってください。

今年度も同窓会にご支援ご協力をよろしくお願致します。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



出来上がった懸垂幕を広げて記念撮影
中山博之校長先生と岩瀬和子同窓会会長

校門前に掲げられた懸垂幕

と
換
抄



都立第三商業
学校長 中山博之

平成27年4月1日付けで校長に就任した中山博之と申

します。同窓会の皆様には、日頃から本校の教育活動に多大なご支援を賜り、心から感謝申し上げます。中でも、東京三商会の奨学金につきましては、まさに本校生徒を物心両面で支えていただいているものと、保護者・教職員一同、感謝の念に堪えません。本当にありがとうございます。

この3月まで、私は東京都中部学校経営支援センター(以下、「支援センター」と表記)で学校経営支援担当課長として勤務していました。都教育委員会では、東京都を東部・中部・西部に分け、地域ごとに所と支所を設置(平成18年4月1日から都内6箇所を設置)して、高等学校、中等教育学校、特別支援学校等、約250校の都立学校を所管しています。支援センターは、都立学校に対し、校長がリーダーシップを発揮し、より自律的な学校経営を行っていただけるよう、学校訪問等とおして各都立学校の学校経営や教育活動の状況を把握し、学校経営、教育活動、人事管理等の支援を行う「経営支援ライン」と、これまで都立学校事務室で行っていた庶務、経理、施設管理等の業務を集約し、より効率的に集中処理を行う「業務支援ライン」の2系統で都立学校を支援しています。昭和3年1月に創立以来、平成30年1月で創立90周年を迎える歴史と伝統を誇る都立第三商業高校に着任し、まさに重責を感じる毎日です。

さて、私の初任の高校は、北区の西ヶ丘に位置す

る都立赤羽商業高校で、本校第13代校長の後藤安孝先生から3年間、初任者としてご指導を賜りました。今では本校の校長室で執務していると、後藤先生をはじめとした歴代の校長先生方の現役時代の仕事ぶりを思い起こしては自分の未熟さを実感しています。私は鹿児島県奄美大島の出身であり、高校時代まで奄美で過ごしていました。高校時代の恩師の影響を受け、教師を目指して関西の大学を受験しましたが失敗し、浪人するなら花の都「東京」で生活をしたいと思い上京してきました。東武東上線「上池袋駅」近くにある読売新聞上池袋専売所で新聞奨学生として東京での予備校生活が始まりました。翌年、渋谷にある大学に通うことになり、経済学部ということもありましたので日本経済新聞霞町専売所（現西麻布交差点）に移りました。教員免許を取得する教職課程の授業は夕刊を配達する時間帯でしたので、新聞配達所は辞めて予備校時代に読売新聞のお客さんであった方のお宅に住み込んで、凸版印刷のトラック配達をしながら大学を卒業し、現在に至っています。上京以来、様々な貴重な体験を重ね、「見たり・聞いたり・試したり」Let's Think! Let's Try! をモットーとして生徒たちに語りかけてきました。着任後の入学式では新入生に対して、以下の2つのことを話しました。

①自ら積極的に学ぶ姿勢を持ち、様々な資格試験に果敢に取り組む

商業高校のシステムは、生徒が自分の進路を見据え、その進路実現に必要な教科・科目を学んだ延長線上に、資格（ライセンス）の取得があるということとを最大の特徴としています。自ら積極的に学ぶ姿勢を持ち、このシステムの有効な活用をしてくださ

い。

②第三商業高校の良き伝統と校風を継承する

本校では、気持ちよい挨拶が交わされ、校内規律が自然に守られ、文武両道の気風を目指し、学習だけでなく文化・スポーツ活動にも全力で取り組むことが良き伝統と校風になっています。学校生活において真面目さや誠実さを大切に、けじめのある学校生活を送り、良き伝統と校風を継承してください。また、始業式では在校生に対して、「身体だけ大きくなつた子供ではなく、発達途中の小さな大人」として本校の先生方は君たちに接していくことを宣言しました。

新学期が始まって2ヶ月が経ち、校舎内では、競い合い、励まし合い、汗や涙を共に流し、目標達成に向かって努力する姿をあちらこちらで見ることができきます。多くの感動や友情が育まれ、お互いに一生の財産となる高校生活を過ごすことができる環境を整備する努力を惜しまない覚悟で取り組んで参ります。ご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

何かを求めるのではなく何かをできないか



同窓会副会長
第31期 三浦康二

私は母校都立三商を卒業して今年で51年になります。私

が同窓会活動に参加する契機となったのは、私の4人いる子供で1番下の子が都立高校に入学した15年前の時の事です。私はそれまでは仕事等の忙殺を理由に子供達への入学式等にはあまり積極的に出席しておりませんでした。4人の子供の親として、これまで種々の学校に大変お世話になり、

これが最後の入学式との思いから出席を決意したのでした。入学式が終わり保護者が各教室に移動をして何があるのかと思っていたところPTAのこれからの係わりと活動の説明があり、PTAへの参加を求められて「あつ」と気が付いたら何とPTA会長に推されておりました。私は4人の子供たちの学校生活25年の中で唯の1度もPTA活動に携わった事が無いのです。この決断にはものすごいためらいがありました。25年間子供たちが健やかに学校生活をおくれた事への感謝の一念と、私として学校のために何がしてあげられるか、それが「何かを求めるのではなく、何かをできないか」です。初めてPTA活動に参加したのがいきなりPTA会長ということで一から学びながら3年間会長を務めさせていただきました。

PTA会長がおわって12年前、これからは大変お世話になった私の母校都立三商のために何かをできないか、それは三商同窓会で母校のため又卒業生の仲間のために自分としてできる限り力を注ぎ活動をさせていたきたい、という事で三商同窓会に携わる事になったのです。今同窓会も活動が盛り上がりつつ発展をしております。

母校三商も素晴らしい良い方向に進んでおります。「同窓会に何かを求めるのではなく、自分として母校や同窓会のために何かをできないか」という、人間として崇高な考えのもとにこれからも積極的な同窓会活動が行われていく事が大切であるとおもっております。

ここで重要な事は、私達は同窓会活動や目的をもつとよく知る事だと思います。それは教えられるものではなく自分自身が活動の中で学んでいくものである、生涯学習と言う目的観と生涯青春という三商魂

でこれからの活動を推進して同窓会活動の発展に繋げていけるよう日々努力をしていかねばならないと思うのです。

同窓会とは不思議なもので、特に同期会なんかでは人生の途中でいかなる個人差が生じても会えば、お前、ちゃん、くん、俺、果ては呼び捨ての名前で分け隔てなく話し合え、心が通じるのが不思議です。又先輩や後輩との出会いもあり親しみのなかにも厳格な上下関係を作っているのも事実であります。そういった節度あるなかに同窓会があるのであって、けっして無礼講は存在しないのです。

私達が持ち込む意見や提案等も同窓会活動の中で学んだものを生かしていけるものとしていきたい、私達はその世界に入って初めて色々なものを学び知識を得る事ができるのです。

SUN商にふさわしく旭日の太陽がSUN SUNと昇るがごとく若き同窓の友が陸続と私も君もと共に手を繋いで母校三商の為に、同窓会の発展の為に「私にも何か出来ないか」との思いで同窓会活動に参加して下さる事を切にお願いをいたします。

2017年11月頃の予定で母校都立三商の創立90周年行事が行われます。その為にも同窓生が一人でも多くの同窓生と共に素晴らしい90周年を祝賀できますよう宜しくお願い致します。

同期会・クラス会開催報告

同期会活動報告

第25期 當麻 隆

平成二十六年十一月五日（水曜日）正午より、墨田区錦糸町の『東武ホテルレバント東京』を会場にして第十三回の同期会を開催致しました。

出席者八十九名（内女性二十四名）に恩師の中川甲子三郎先生（五組担任）、岩瀬和子同窓会会長をお迎えいたしましたして盛大に実施致しました。

特に中川先生はお足がご不自由で当日は娘さんを同伴されてのご出席でした。心より感謝申し上げます。

会の進行は、ご逝去された恩師、学友に黙祷をさされたのち、開会挨拶、乾杯と続き、中川先生のご挨拶、岩瀬同窓会会長より同窓会の近況報告があり、その後は懇談に移り、会場のあちこちで談笑の輪が広がり、思わぬ宴の盛り上がりに行行幹事は時計を睨みながら時間割を気にしていました。

六組の松丸氏の音頭で、校歌、応援歌を声高らかに歌う様は、まさに喜寿を迎えるおじいさん、おばあさんの顔で、学生時代のあの懐かしい顔と重なって、感極まった情景は今でも思い浮かびます。

今回の幹事は三組が担当で稲増、今泉、當麻、それに女性の山岸さんの四名で準備にあたりました。加えまして、三組の旧友は勿論のこと、各クラスの幹事の方々には大変なご協力を戴きましたことをこの紙面を借りて御礼を申し上げます。

ところで同期会の経緯ですが、卒業後暫らくの間はクラス単位で同期会を実施していましたが、卒業後二十年程たった頃にそろそろ全体で開催したいとの意見が多数寄せられて、有志で協議した結果、第

一回の同期会が幹事七組にて、昭和五十三年四月十六日、八丁堀の『スエヒロ』にて開催し、出席者が一七七名となり盛大な会になりました。

その後も第五回迄は七組が引続き幹事を引受けられ、現在の同期会の礎を作って戴いたと記憶しています。その後は、各クラスの持ち回り幹事で、二、三年の間隔で開催して来ました。

持ち廻り幹事の方式も今回の第十三回を以て終了として、次回からは各クラスの代表者と共同で幹事を担うことに成りました。代表幹事には八組の石川昭氏を中心に運営致します。

来年の第十四回 同期会では 皆んなで 喜寿を 祝いましょう



第26期同期会は通算26回目を開催!!

第26期 古田勝一

還暦を迎えた60歳からは「生涯青春で有り続けたい」との願いから同期会を毎年開催して参りました。それも1組から9組まで当番幹事制で…。

昭和34年、472名で卒業しました私共26期生は、いつしか56年の時を経て、26回目の同期会を迎えることとなりました。奇しくも本年は74歳or75歳を通過中で有りますので、3/4世紀を歩み続けてきたこととなります。

通算26回目となります記念すべき同期会は6組が当番となり、代表幹事には牧野英昭さん・豊田紀雄さん・三谷宣勇さんはじめ6組の方々に取り仕切っていただきました。

平成27年6月20日(土)「椿山荘」

卒業生472名(物故者60名・住所不明者105名・住所判明者307名)中、当日出席者86名。

梅雨入りしたというのに当日は、日本晴れ。昨年に引き続き、天が味方をしてくれました。

会場では東北支援の一助として恒例となりました、深瀬剛男さんによる「三陸名産 焼まつも(高級海藻)」の販売をし、販売益は「被災地支援義捐金」といたしました。

私よりは報告事項として次の3点を話させていだきました。

第1点は同窓会報53号の表紙に7組の水上健二さんの絵画(「時の旅人シリーズ」より)が載りましたこと。

第2点は公益財団法人東京三商会の念願であった、「三商会館」が見事落成しましたこと。

第3点は週刊「エコノミスト」の連載「名門高校の校風と人脈」に三商が掲載されましたこと。

日本全国には様々な高校が三千校余有る由。このシリーズの129番目に三商が取り上げられました。商業高校ではトップの登場です。

三商掲載の「エコノミスト」誌は2月に発刊されましたので、早速26期同期会として100冊購入し、岩瀬和子同窓会長のご尽力により同期の仲間に発送していただきました。



挨拶に立つ筆者古田

仲の良い仲間でパチリ



式次第も順調に進み…宴たけなわの中、「クラス別記念写真」。撮影は、いつもの様に同窓会事務局長の杉本光男さんにお願ひし、「校歌・応援歌」も

喜びをこめ声高らかに斉唱…。

これより先も26期生が共に80歳の傘寿の会へ向け、明るく…楽しく…そして元気に過ごしていける様願いつつ…来年も必ず再会ぞ!!…と誓い合つての散会となりました。

三商19期同期温泉旅行

第19期 森 莞

毎月19日に同期の大関君が経営する両国の大関庵に集まり、同期会を開いています。そこには毎回20名前後集まり、わいわいがやがやと昔話から近況の話まで楽しい一時を過ごしています。その集まりの中から誰言うとも無く旅行の話が持ち上がり、今までの同期の竹内君の軽井沢の別荘から始まり、岡野君の疎開先の故郷めぐりや、箱根、湯河原、熱海等の温泉めぐりを行ってきました。今回も何処にしようか幹事役の勝亦君を中心に企画したところ、木村君がメンバーのホテルである箱根の強羅に決まりました。予定寸前になり最後の出欠の確認をしたところ、ニュースで大涌谷の火山噴火が報じられている近くなので危険ですからと女房に止められた人も出て当初18名の予定が12名となりホテルに確認したところ、通常どおり営業しているとの事で予定どおり出発することになりました。

2015年6月2日に東京駅集合で出発しました。一部現地集合の人も居ましたが、今回東海道線が東京駅始発では無くなりましたので、席が取れないといけないのでグリーン車で行くことにしました。車内では有志が持ち込んだお酒ですぐ乾杯が始まりましたが寄る年波のせいか以前よりお酒の消費が少なく、持ち込みのお酒がかなり余って小田原駅に降り

立ち、ホテル迎いのバスでホテルリゾーピア箱根に向かいました。箱根駅伝のコース道路で駅伝を思い出しながら到着。早速浴衣に着替えていざ温泉に入ろうとしたが3時からなので、全員12名が一室に集まり早速車中の余ったお酒をテーブルにならべて



乾杯を始めました。ビール、焼酎、日本酒、それぞれに別れ、日本酒は美味いが糖尿だから焼酎、だとか久保田の千寿だから日本酒を飲むという人からビールオンリーの人がいて、温泉が開くまで大宴会でした。

その後温泉に入り旅の埃を洗い流し、その後も宴会

の時間までまだ間があるのでまたまた部屋で宴会が始まり、話と言えば病気の話から始まり薬を何個飲んでいるとか健康法はこれをやっているとか話題がこれ中心でお互い年を取ったなど感じた宴会です。宴会が始まる前はかなりりべろになって宴会場に入りました。木村君の厚意で芸者が3人華を添えてくれました。青森県弘前出身、山梨県河口湖出身、愛媛県西条出身の3人の美人に囲まれて宴会開始です。美人たちのお酌でおおいに盛り上がり、ビンゴゲームをして、2次会へと会場を移しカラオケで盛り上がりました。傘寿を超えたとは思えない元気で騒ぎまくり箱根の一夜を迎えました。事件と言えど靴が無いと大騒ぎになり、間違つて履いていった人がいて、これも年なのかなど、又歯を磨いた後洗面台に入れ歯を忘れて拾われたり、みんな年の割に元気ですが、ところどころに年相応のボケが出て楽しい旅行でした。

噴火を心配しましたが途中で小さい地震があっただけで、噴火レベル2の大涌谷をすっかり忘れるくらいおおいに楽しみました。今回の参加者は奥山、岡野、勝亦、木村、小西、平井、藤井、細田、中村、渡部、各氏と後輩の元同窓会会長の柴崎氏と森の12名です。次回にはもっと多くの参加者を募りたいに長生きし、米寿はともかく卒寿、白寿、まで頑張つて人生を楽しみましょう。

二十期同期会

第20期 河原啓介

会員全員が傘寿を迎えた時を見て、平成二十七年四月五日(日) 正午より両国駅前ザ・ホテルベルグランドにて、女性会員二名を含めて五十一名で開催

しました。開会の辞は世話人幹事松本隆治さんが行い、先ず物故会員の名前を呼び上げ全員で黙祷といたしました。世話人を代表して河原啓介より二十期同期会としては最後の同期会になりますと報告され、会員に対して永年に渡るご協力、ご支援に感謝の意を表しました。

次に、乾杯は世話人幹事大嶽正俊さんが行いました。今回のメインテーマ三商の思い出話は各クラスから発言があり、大変盛り上がりました。特に多かったのは、今村直人校長先生、清田栄一教頭先生、又各担任の先生の在校中や卒業後のご指導に対して大変お世話になった思い出話がほとんどで、今でも感謝している人ばかりでした。高山明雄さんより毎年清田栄一先生の墓参りを続けている報告があり、又オリンピックのバレーで活躍した出町豊さんから当時の三商バレー部の話もありました。

その後、事務局の河原に対して、松本隆治さんのねぎらいのことばと、酒巻昭子さん、辻川好子さんより花束の贈呈がありまして、大変うれしく思いました。

二十期の今後について世話人幹事の茂呂雅之さんから、世話人を決めてご連絡する方法を考えています、とのお話がありました。

友情出演タイムに移り、プロ歌手森下紋巳子様のすばらしい歌声に全員が魅了されました。

世話人幹事の菅波良司さんの指揮で、校歌・応援歌を歌い、茂呂雅之さんの閉会の辞で楽しい二十期最後の会を終了いたしました。

参加者（敬称略）

- 1組 樋田勝之 高山明雄 澤田順一郎 川島武男
- 大埜昌一 青柳守恒 小嶋三郎 酒巻昭子 辻川好子 田中一良
- 2組 青木成晃 天野弘治 館野叔夫 関 政男
- 折原満男
- 3組 八木敏治 出町 豊 早矢仕昌男
- 4組 大嶽正俊 上野英二 関口 保 大澤隆雄
- 鈴木栄治
- 5組 鈴木邦夫 草ヶ谷薫 柳澤広繁 菅波良司
- 6組 島 正治 渡辺侑信
- 7組 川邊裕徳
- 8組 米山 孝 佐藤清春 田辺眞次 村田八郎
- 山崎育治 栗原秀郎 丸山耕平
- 9組10組 海老澤榮八郎 中川裕司 町田明夫 茂呂雅之 河原啓介 松本隆治 日比野欽司 伊藤国弘 芳賀信明 小林淳佑 沼川忠雄 山崎裕永 西山正孝 坂巻長太郎

「三商会館」でのクラス会を楽しむ

第28期 岩本榮輔

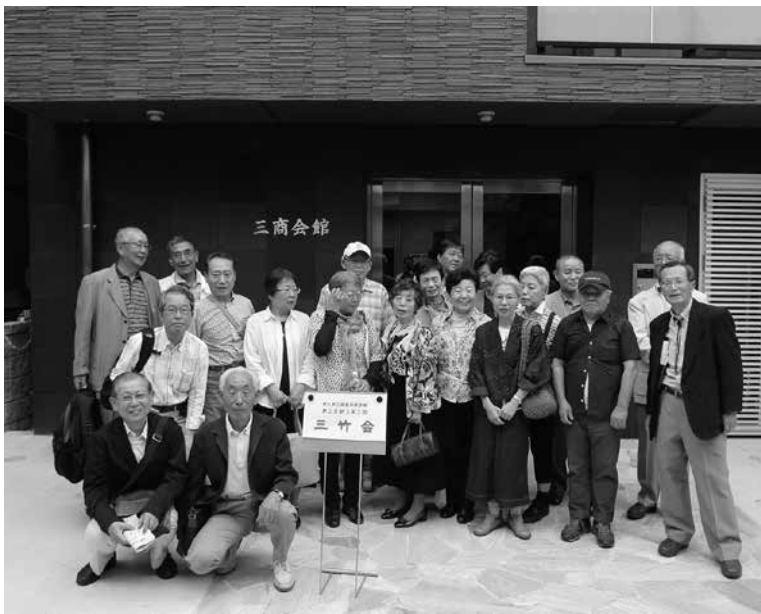
「ああ、時計塔がない。」私たちの第一声はこれでした。5月15日、そこで目にしたのは白亜の清潔感溢れる学舎でした。

私たち3年2組（担任は竹田一郎教諭）は3年程前から毎年立夏の頃にクラス会『三竹会』を開催、今年も面倒見のいい幹事の企画で、笑顔溢れるクラス会が開催され、参加した20名は至福のひと時を過ごしました。

当日、会の前にリニューアルされた校舎の見学会を体験。学校の周辺は昭和の残景はありませんでし

たが、校門を入るとにわか成人前の貴重な時間を過ごしたさまざまなことを思い出しました。また2クラス合同による総合実践授業ができる情報処理室など最先端の環境が整備されているところや、後輩諸君が「TCS」文字のTシャツを着て開催中の体育祭で躍動している姿を見るにつけ期待と共に感慨深いものがありました。

今回は、学校から10分程の牡丹町公園の近くに諸先輩関係者の多大なご尽力で竣工した「三商会館」ビルの3階でクラス会をしました。お互いに酒杯を交わしつつ話しは尽きず、あつという間のひと時でした。「学業より友との交わりが多かったな」「門仲、越中島への通いに思いがいつぱい」などの談笑があちこちで聞こえるクラス会となり、次回の再会を楽しみに散会しました。



パッション杯のNO.5例会

第22期 斎藤 稔

毎年6月の第三土曜日に開催している「22期パッション会（3年6組）」は、今年も富岡八幡宮そばの「富水」で、16名が参加して開かれました。

開宴に先立ち、この1年間に鬼籍入りしたクラスメート3名に黙祷を捧げました。

空手の実力者だったり、水泳の選手だったり、スポーツマンであった彼らも病魔には勝てなかつたのです。それぞれに親密だった仲間から想い出話を披露してもらいました。



乾杯の後、久しぶりに参加した仲間からは近況を、いまだに現役でビジネスの第一線で活躍中の苦労話など、各々から報告があり、笑ったり驚いたり頷いたり、アツという間に予定の2時間が経ちました。

最後に幹事の一人が見付けてきた「エースコック」を全員に配りました。この商品は、われわれの卒業（昭和30年）の年に発売されたものでした。来年は傘寿です。

一人でも多くの仲間との再会を期し、散会しました。

有志の会活動報告

放送部 卒業生の会

第30期 近藤若三郎

文責

第25期 根本良一

「三商を卒業しました。放送部も卒業しました。」と先輩たちは言う。まったく同感である。三年間、学業と、クラブ活動の放送部には、青春の一刻を、皆、大いに情熱をかたむけたのだ。部室は時計塔のある、正面玄関二階に位置し、放送コンテスト、放送劇コンクールの時期が近づくと、仲間たちと練習に励み、日曜日に登校したり、定時制の皆より遅くまで学校に残っていた思い出がある。

放送部には、企画演出、アナウンス、放送劇、技術などのセクションがあり、アナウンス、放送劇の連中は早口言葉、発音発声、セリフ表現力の練習に励み、技術は放送設備充実と機械の習熟、ミキシングのレベルアップ、企画演出は番組制作、演出などを担当し、日々研鑽を重ねたのだ。全国の高校放送部による大会に参加、放送劇、アナウンス、朗読、番組制作の各部門に参加、努力の甲斐あって好成绩を取めた。

当時といっても五十年以上も前のこと。校内のクラブ活動に参加するのは自然の流れであり、仲間との出会い、情熱をかたむける最適の場であったのだ。クラブ活動では先輩から教えを受け、同期の仲間とは大いに語らい、先輩たちとはハイキングに。

「三商祭」では放送劇を上演、卒業間近には文集作

りに仲間との共同作業に心が弾んだ。思えば、あつという間の三年であったが、楽しい学生時代を送った、往時に思いを馳せ、懐かしむ卒業生は多く、今から十六年前、二十五期、二十六期のメンバーが中心となり、「三商放送部卒業生の会」を立ち上げ、前後の期の先輩、後輩たちに呼びかけを行った。



当初は二年に一度の開催だった。数年前から毎年開催となり、今年も十回目を数える。十月二十一日開かれた会には、出席者は全員が七十歳以上。

人生、残り時間を数えはじめる頃合いに、さしかかった人達である。毎回三十名前後が参加しており、皆、意気盛んでご同慶の至り。今、思い出すのは多くの

優れた人たちにめぐり会い、教えを受けていると、知らず知らずに良い結果に恵まれる。

放送部の卒業生、皆様と出会い、一層この感を深くした。「会うが別れのはじめとか」卒業、退職で別れてから始まる付き合いも、人生にはあるのだ。「三商放送部卒業生の会」は、まさにその一つ。

会の山場での校歌、応援歌を歌いながら思うことは……、おたがい永い人生を生きてきた皆さんに元気な「カンパイ」の声とエールが響きわたった。人生って嬉しいものですね。

フレー フレー 三商
フレー フレー 放送部

おしまいに、来年の再会を約束して、『江戸一本締め』でお開きと相成りました。

三史会
古暮正雄先生逝って早、十二年

第26期 栗原啓右

月日の過ぎるのが、極めて早い最近です。

三史会の集まる仲間も平均75才になりました。今年は古暮先生の十三回忌です。

御親族の法会には是非参列したいと思っています。毎年の八月三十日の墓参会は別世界で一杯飲み交す機会が到来する迄続くでしょう。

今、NHKの大河ドラマ「花燃ゆ」を観ていると、

時折先生の熱弁している姿が思い出されます。そこに登場する人物、「維新の獅子達」は得意とする研究対象だったのでしよう。



基参の後 維新の立て役者西郷様へお参り

同期会・クラス会開催案内

第二十一期同期会のご案内

同期の皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、同期諸兄弟におかれましては本年は傘寿の歳を迎えることとなります。

これを機に傘寿祝賀第二十一期同期会を開催いた

します。後期高齢と共に同期が一同に会す機会も少なくなりそうです。多くの諸兄弟にご参集頂き旧交を温めていただきたくご案内いたします。

日時 平成二十七年十月十日(土) 十二時開会
会場 ザ・ホテルベルグラnde

総武線両国駅西口(秋葉原方面出口)
徒歩一分

改めてのご案内は九月初旬に送付いたします。

当番幹事五組 高野 昇、細田 武 浅野修一

六組 尾見泰男、木村隆幸

第29期同期会開催のご案内

同期会の皆様には、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、第十四回の同期会を左記要領で開催いたします。当日は旧交を温め、更なる健康長寿を祈念いたしたいと思いますので、多くの会員にお集まりいただきますようお願いいたします。

日時 十一月八日(日曜日) 十二時三十分~十五時

受付時間 十二時より

会場 ライオン銀座七丁目店六階
「銀座クラシックホール」

同期会幹事 小室 稔

電話 046(293) 6556

以上

同期会報告記事のお願い

同窓会員の皆さままで開催された同期会、クラス会、クラブOB会などの会合報告をぜひお寄せください。参加出来なかった人へのご報告や活動の記録として、同窓会報に掲載させていただきます。参加された幹事さんや、代表の方、その時の写真なども添えてお送りください。送り先は、30ページにあります同窓会事務局まで、手書き原稿のご郵送でも、ワープロに書かれたデータをメールでお送りいただいても結構です。

同じく、これから同期会等を開催予定の方も、日時、場所、その他の事項をお知らせ頂けましたら、開催予定として掲載させていただきます。

三商祭のお知らせ

10月2日(金) 3日(土)



去年の様子 PRする垂れ幕と体育館でのダンスサークル

同窓会活動報告

定時評議委員会報告

日時 平成27年5月23日17時より
場所 三商会館 3階会議室

会議の前に食事をとってもらい、定刻午後5時に小林慎典(28期)副会長の司会で評議員会が開催される。

土方敏之(29期)副会長の開会の辞のあと、岩瀬和子(26期)会長の短い挨拶があり、杉本光男(26期)事務局より定足数として

議決権総数 178名

本人出席23名

委任状による出席39名

よって (62/178 ≒ 34.8%)

本日の評議員会は成立している旨の報告があった。

続いて議長選出に移り司会者一任の声があり、今泉 清(31期)を指名し議案審議に入る。

第1号議案 平成26年度事業報告承認の件

杉本事務局より説明があった。まず同窓会の活動記録より入学式から日時順に卒業式までの活動報告があった。事業に関しては昨年の評議員会で出された事業計画案については、決算報告にもあるようにすべての事業をおこなった旨の説明があり承認された。

第2号議案 平成26年度会計報告及び監査報告承認の件

渡辺秀明(48期)会計担当理事より説明があり、予算と執行額の差異が多いものについては細かく説明をした。卒業証書入れについては、追加が出たため請求書が3月末に届かなかったため未払となった。通信事務費の マイナス八千五百六十三円については同期会、クラス会等を手伝ったさいの切手代その他の受け入れが多かったためと説明があり、続いて三川廣志(34期)監事による監査報告があり原案通り承認された。

第3号議案 平成27年度事業計画案承認の件

杉本事務局より説明があった。今年も前年同様若い世代に同期会を行ってもらうよう働きかけ支援する。また、ホームページ活用を活発にすることを重点に例年通りの事を行うことで原案通り承認された。「公益財団法人 東京三商会」についてはもう少しわかりやすく説明するよう努める。

第4号議案 平成27年度予算案承認の件

渡辺秀明会計担当理事による説明があった。27年度より会計処理の一部変更をする。事業収入を表示しより詳しくする。また、卒業証書入れについては、前期末払いの分を今期払い、今期については学校の都合で出さなくて済むので予算はたてない。通信費が大幅に増加したのは、同窓会報の送付が多くなるで見越した。これらの説明で原案通り承認された。

第5号議案 同窓会会則一部改定案承認の件

杉本事務局より説明があった。第8条の「選出する」から「承認する」に変える理由については、選出に

ついては昨年の評議員会で誤解があり8条の条文を「理事及び監事は理事会において正会員の中から推薦し、評議員会で承認を得る」とすることで承認可決をされた。また、20条については、最近の評議員の数が多くなったが出欠(委任状)の返事がこず、評議員会が成立できないことになりうるので、「何人以上の出席をもって」ということをなくし、当日出席された評議員で成立する事にしたい。よって20条は 評議員会は出席者をもって成立し、議事は出席員の2分の1以上をもって決定し、可否同数のときは議長がこれを決定する。という文面にする事で承認された。また、9条についても 評議員は各期毎にその正会員の中より若干名選出し、会長が委嘱する。但し議決権は一名一票とする。このように条文を変えて了承した。

第6号議案 その他持寄り議題「公益財団法人 東京三商会」についての意見が出たが、財団についての理解がなされていないので、もう少し機会があれば詳しい説明が必要だ。会計の処理について27年度より変えたのでこのへんの事を間違わないように。

以上で議案の審議は終わった。来賓の挨拶でこの4月に新しく赴任された、中山博之校長と、木藤則行先生の挨拶があり篠崎清(22期)副会長の閉会の挨拶で評議員会が終了した。

※各種了承事項の詳細は、次頁以降の資料をご覧ください。

第1号議案

活 動 記 録 (26年度)

No. 1

日付	曜日	摘 要	備考
26/4	8 火	入学式	
4	12 土	東京校歌振興会 総会 出席者 杉本光男、三川廣志 平成25年度(第21回)東京校歌振興会収支決算報告 平成26年度(第22回)東京校歌振興会予算案	西高会館
4	28 月	理事会 第1号議案 来年度予算について 第2号議案 新校舎完成見学会について 第3号議案 評議員会開催準備 第4号議案 総会について 第5号議案 三商同窓会報について 第6号議案 ホームページについて 第7号議案 東京三商会現況報告 第8号議案 その他	すみだ産業会館
5	18 日	新校舎完成見学会	
6	7 土	評議員会 第1号議案 平成25年度事業報告承認の件 第2号議案 平成25年度会計報告及び監査報告承認の件 第3号議案 役員任期満了につき役員改選の件 第4号議案 平成26年度事業計画案承認の件 第5号議案 平成26年度予算案承認の件 第6号議案 同窓会会則一部改定承認の件 その他持寄り議題	すみだ産業会館
6	10 火	同窓会報グループ委員会	東京三商会事務所
6	13 金	三商会計人会 総会	両国「大関庵」
6	19 木	東京校歌祭実行委員会	小山台会館
7	6 日	東京校歌祭実行委員会	小山台会館
7	12 土	「三商同窓会報」発送	
7	29 火	理事会 第1号議案 新校舎完成見学会報告 第2号議案 「三商同窓会報」発行発送報告 第3号議案 第22回東京校歌祭について 第4号議案 同窓会総会について 第5号議案 新年会について 第6号議案 ホームページについて 第7号議案 東京三商会現況報告 第8号議案 その他	都立三商会議室

活 動 記 録 (26年度)

No. 2

日付	曜日	摘 要	備考
26/8	5 火	東京校歌祭 杉並公会堂下見	
8	29 金	東京校歌祭実行委員会	新宿 はやしや新宿
9	4 木	東京校歌祭実行委員会	小山台会館
9	18 木	東京校歌祭実行委員会	小山台会館
9	28 木	理事会	都立三商会議室
		第1号議案 「三商同窓会報」発行発送報告	
		第2号議案 第22回東京校歌祭について	
		第3号議案 同窓会総会について	
		第4号議案 新年会について	
		第5号議案 ホームページについて	
		第6号議案 東京三商会現況報告	
		第7号議案 その他	
10	9 木	校歌祭委員会	都立三商会議室
		ピアノ伴奏で練習	同 音楽室
11	1 土	校歌祭	杉並公会堂
11	29 土	同窓会総会	都立三商視聴覚室
		懇親会	三商会館 3階
27/1	29 木	理事会	三商会館 3階会議室
		第1号議案 第22回東京校歌祭収支報告	
		第2号議案 同窓会総会報告	
		第3号議案 新年会について	
		第4号議案 評議員会開催について	
		第5号議案 来年度予算について	
		第6号議案 ホームページについて	
		第7号議案 東京三商会現況報告	
		第8号議案 その他	
2	4 水	三商会計人会 新年会	両国「大関庵」
2	7 土	新年会	ザ・ホテルベルグランデ
3	7 土	卒業式	
3	7 土	三商PTA 卒業を祝う会	東天紅深川店

第2号議案

平成26年度 会計報告

自平成26年 4月 1日

至平成27年 3月31日

(単位 円)

項目	予算額(A)	執行額(B)	差額(B-A)/(A-B)	備考
前年度繰越	8,754,738	8,754,738	0	
(収入の部)				
会費(82期)	1,800,000	1,910,000	110,000	
運営協賛金	350,000	351,000	1,000	
利息他	2,000	1,266	-734	
収入合計	2,152,000	2,262,266	110,266	
(支出の部)				
理事・評議員会	300,000	185,853	114,147	
総会	200,000	142,695	57,305	懇親会出席者 52名
新年会	180,000	111,172	68,828	出席者 41名 来賓 3名
校歌祭	150,000	163,290	-13,290	参加者 54名
同窓会報	600,000	503,565	96,435	3700部印刷 会報送料込
ホームページ	250,000	122,044	127,956	
活性化活動費	200,000	89,583	110,417	
母校部活支援	200,000	200,000	0	
就職活動支援	100,000	146,293	-46,293	
母校支援	170,000	100,000	70,000	
卒業証書入れ	150,000	0	150,000	支払が次年度になった
会合費	50,000	4,000	46,000	
慶弔費	50,000	51,000	-1,000	
通信費・事務費	50,000	-8,563	58,563	
雑費		54,300	-54,300	雑誌エコノミスト購入費
特別会計予算	0	0		
支出合計	2,650,000	1,865,232	784,768	
(繰越の部)				
前年度繰越	8,754,738	8,754,738	0	
当期収入	2,152,000	2,262,266	110,266	
当期支出	2,650,000	1,865,232	784,768	
次年度繰越	8,256,738	9,151,772	895,034	

特別会計(周年記念事業)

前年度繰越	2,197,269
一般会計(83期)	0
受取利息	790
収入合計	<u>790</u>

上記のとおりご報告申し上げます。
平成27年4月20日

会計 渡邊 秀明

会計 小林 慎典

監査の結果正確である事を認めます。
平成27年4月20日

支出合計 0

監事 古田 勝一

差引次年度繰越 2,198,059

監事 辻井 正巳

監事 三川 廣志

第4号議案

平成27年度 収 支 予 算 (案)

自 平成27年 4月 1日
至 平成28年 3月31日 (単位 円)

項 目	26年度予算額	26年度執行額	項 目	27年度予算額	備 考
前年度繰越	8,754,738	8,754,738	前年度繰越	9,151,772	
(収入の部)			(収入の部)		
会費(82期)	1,800,000	1,910,000	会費(83期)	2,000,000	
運営協賛金	350,000	351,000	運営協賛金	0	
利息他	2,000	1,266	事業収入	630,000	※
			利息他	1,200	
収入合計	2,152,000	2,262,266	収入合計	2,631,200	
(支出の部)			(支出の部)		
理事・評議員会	300,000	185,853	理事・評議員会	180,000	交通費、弁当、お茶
総会	200,000	142,695	総会	0	
新年会	180,000	111,172	新年会	330,000	60名 @5,500-
校歌祭	150,000	163,290	校歌祭	180,000	年会費80,000-交通費60,000-
同窓会報	600,000	503,565	同窓会報	420,000	3500部 @120
ホームページ	250,000	122,044	ホームページ	150,000	
活性化活動費	200,000	89,583	活性化活動費	200,000	
母校部活支援	200,000	200,000	母校部活支援	200,000	
就職活動支援	100,000	146,293	就職活動支援	100,000	
母校支援	170,000	100,000	母校支援	170,000	
卒業証書入れ	150,000	0	卒業証書入れ	150,000	
会合費	50,000	4,000	会合費	50,000	
慶弔費	50,000	51,000	慶弔費	50,000	
通信費・事務費	50,000	-8,563	通信費	350,000	
雑費		54,300	事務・消耗品費	120,000	
特別会計予算	0	0	雑費	50,000	
			特別会計予算	0	
支出合計	2,650,000	1,865,232	支出合計	2,700,000	
(繰越の部)			(繰越の部)		
前年度繰越	8,754,738	8,754,738	前年度繰越	9,151,772	
当期収入	2,152,000	2,262,266	当期収入	2,631,200	
当期支出	2,650,000	1,865,232	当期支出	2,700,000	
次年度繰越	8,256,738	9,151,772	次年度繰越	9,082,972	

※事業収入明細

① 新年会会費	¥3,000-	50名	150,000
② 三商同窓会報広告収入			280,000
③ 校歌祭反省会会費	¥3,000-	50名	150,000
④ その他雑務収入			50,000
			<u>630,000</u>

平成26年度特別会計(周年記念事業)		平成27年度特別会計(周年記念事業) (案)	
前年度繰越	2,197,269	前年度繰越	2,198,059
一般会計(82期会費)	0	一般会計(83期会費)	0
受取利息	790	受取利息	800
収入合計	<u>790</u>	収入合計	<u>800</u>
支出合計	<u>0</u>	支出合計	<u>0</u>
差引次年度繰越	2,198,059	差引次年度繰越	2,198,859

第3号議案

平成27年度 事業計画案

- 今年度も前年度同様、若い世代に同期会を行ってもらうよう働きかけ、支援する。
- ホームページの利用を活発にする。

1 定時評議員会

平成27年5月23日(土)

2 「三商同窓会報」54号の発刊(本誌)

投稿締切 平成27年5月末日
発行 平成27年7月1日予定
今回も多くの広告を募集する

3 第23回 東京校歌祭への参加

日時 平成27年11月3日(火曜日祭日)
会場 杉並公会堂(詳細本誌2頁にあり)

4 新年会

平成28年2月初旬 予定

5 活性化活動

同期会開催のサポートに重点を置く

6 支援活動

- ① 母校支援
- (部活動支援、就職活動支援、その他)
- ② 卒業証書入れ寄贈

7 「公益財団法人 東京三商会」については逐次報告する。

第5号議案 同窓会会則改定案

(下線は変更部分を示します。)

変 更 前	変 更 後
<p>第4条 本会は本部を東京都立第三商業高等学校内に置く。</p> <p>第8条 本会に役員として、理事30名以内 監事3名以内を置く。理事及び監事は評議員会において選出するものとする。選出された理事の中から、下記の役員候補を互選する。 (1) 会長 1名 (2) 副会長 若干名 (3) 会計2名 (4) 事務局 事務局長を含む5名以内</p> <p>第15条 役員の任期は2年とし、任期の起算日は評議員会において選出後に就任し、2年後の年次定時評議員会の終結までとする。</p> <p>第20条 <u>評議員会はその全員の3分の1以上の出席をもって成立し、</u>議事は出席員の2分の1以上をもって決定し、可否同数のときは議長がこれを決する。</p> <p>第4章 総会</p> <p>第22条 旧 総会は会長がこれを招集する。総会の目的、期日及び場所の通知は書面をもって行う。但し本会会報でこの通知をなすことも出来る。</p>	<p>第4条 本会は本部を東京都立第三商業高等学校内に置き<u>事務局を三商会館内に置く。</u></p> <p>第8条 本会に役員として、理事30名以内 監事3名以内を置く。理事及び監事は評議員会において<u>承認を得る。</u>承認された理事の中から、下記の役員を互選する。 (1) 会長 1名 (2) 副会長 若干名 (3) 会計2名 (4) 事務局 事務局長を含む5名以内</p> <p>第15条 役員の任期は2年とし、任期の起算日は評議員会において承認後に就任し、2年後の年次定時評議員会の終結までとする。</p> <p>第20条 評議員会の議事は出席員の2分の1以上をもって決定し、可否同数のときは議長がこれを決する。 (定足数の撤廃)</p> <p>第4章 総会 (<u>同窓生の集い</u>)</p> <p>第22条 総会は会長がこれを招集する。総会の目的、期日及び場所の通知は書面をもって行う。但し本会「三商同窓会報」及び<u>ホームページ</u>で通知をなすことも出来る。</p>

同窓生の投稿・エッセイ

山を想へば.....

第25期 根本良一



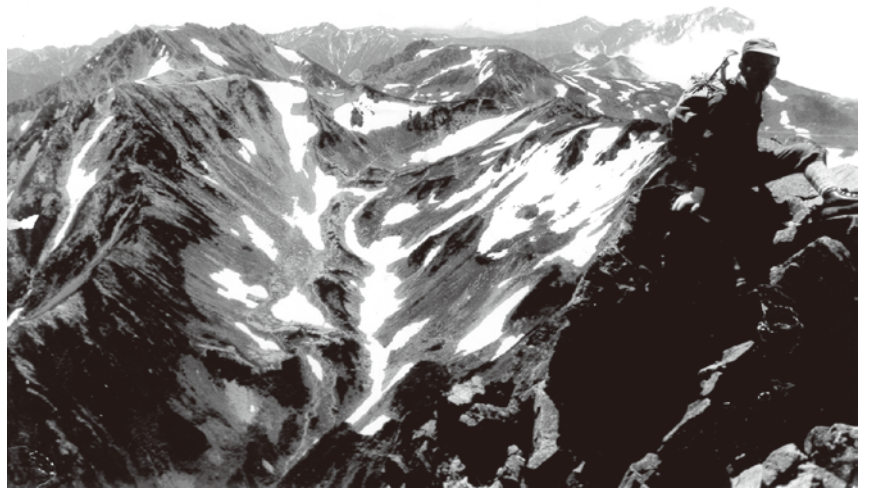
昭和46年2月 厳冬の八ヶ岳赤岳稜線

人生、出会いと縁が、何より大切である。

「山登り」との出会い、三商卒業後、就職した会社で二年目の夏のこと。職場の先輩たちに連れていってもらった静岡、長野、山梨にまたがる南アルプス。

当時の登山用具は帆布のキスリング、米軍放出のシエラフト、今の装備品とは異なりどれも重い。30kgを超える総重量は、体重50kgそこそこの若造の身にはこたえた。東海道線の夜行列車と飯田線を乗り継ぎ、三泊四日 自炊の山旅。赤石岳、荒川岳、三伏峠など三千メートル級の山々を踏破したのが、初めての山行。翌年の夏、三商同期の友と北アルプス表銀座コースを縦走。以後、三〇歳で世帯を持つまで、毎年、「山登り」にカネと体力を注ぎこむことに。南の白峰三山、北の槍、穂高縦走、明治時代、難攻不落とされた「劔岳」に陸軍測量隊が登った長次郎

昭和42年8月 劔岳(2999M)山頂から立山三山



谷を同じルートで登った山行は、とりわけ思い出に残っている。

夏の雄大な薬師岳から立山三山への縦走、十一月の新雪と五月の残雪期、洞沢から奥穂高、北穂高岳への雪山登山。とりわけ二月、厳冬の八ヶ岳「赤岳」登山は稜線上の強烈な風が忘れ得ぬ思い出。白馬岳大雪渓を登り、唐松岳、五竜岳を縦走し、鹿島槍ヶ岳を縦走し、爺ヶ岳に至る山行は水がないのに苦労した。

現在、中高年登山者にとって「聖書」ともいえる深田久弥の紀行文「日本百名山」。この百名山のうち、甲信越地方の中部山岳地帯、四十名山くらいしか登っていないが、好きな山には何度となく登っている。

通算すると百座は超えるだろう。老境に入った今、振り返って生涯忘れ得ぬ山をひとつあげれば、若い頃二度、頂上に立った北アルプス富山の「劔岳」。

思い起こせば、血気にはやる若い時代の八月、劔澤小屋を夜明け前に出発。劔澤の雪渓を標高差五百メートルほど下り、長次郎谷出会いから、アイゼンを装着し、ピッケルを携行して、見上げれば天まで続くような長大な谷を上り始める。登るにしたがって斜度はますます急になり、下を振り返った登るしかない、覚悟を決めた。雪渓を登る登山者の数は少なく、五、六人のパーティが先に登るのみ。

「熊の岩」に近づくにつれ雪渓の傾斜が更に急峻になる。先行のパーティが長次郎谷の窓（最上部）に達し、これから劔岳頂上への岩場を登り始めたとき、突然、ガラガラと音を立てて落石を起こしたのだ。

その岩石が、雪渓を窓に向かって登っている我々二人に音もなく、落下してきた。運よく我々を直激せず、すぐ脇を勢いよくころげ落ちていった。幸運の一語に尽きる。いや「強運」だった。

長次郎の窓から岩場にとりつき、二十分ほどで二、九九九mの劔岳頂上を極める。感動の一瞬だ。山頂からの展望は、旧いアルバムを見直しても絶景である。帰路は別山尾根をカニの横ばいなどの難所を慎重に下る。遭難の多くは下山の時に起きるのだ。

劔澤小屋に三時過ぎ無事到着、ようやく緊張感がとけた。歳を重ねて七十数年。劔岳はもう登れる山ではないのだ。

同じ下町、蔵前工業を卒業した映画カメラマ

昭和42年5月 奥穂高岳(3190M)山頂



ン、同い歳の「木村大作」は近年、新田次郎原作、「劔岳・点の記」映画化で初めてのメガホンを取る。「劔岳」が映画になるとは予想外の驚きと喜びであった。

映画「劔岳・点の記」は幾度となく鑑賞し、山好きの私にとっては永く記憶にそして心にのこる宝物になるであろう。

劔岳に関する写真集、書物や資料、自分のアルバムに目を通しつつ、一句。

「劔岳 思いだし 今日 日は これよし」
私にとつての「季語」は、春・夏・秋・冬の「劔岳」なのである。 おしまい

平成二十七年三月

三商放送部の生い立ち

放送部初代部長

第19期 木戸隆吉



「民子と、野菊と、矢切の渡し」と大きな看板を掲げて、アピールしている駅は、北総鉄道「矢切駅」である。道順はJR市川駅の北口を出て、松戸駅行き十一番線のバスに乗車し、二十分程で矢切駅のバス停に着く。停車場には、『恋のまち名作「野菊の墓」と銘打って右のキャッチフレーズが目につく。更にもう一つ先のバス停「下矢切」で下車し、左の坂道を下って、七、八分のところは歩道橋があり、そこに野菊の墓の「文学碑」がある。



そのまま坂道を一 本道に入ると、矢切のネギ島、キャベツ島と一面素晴らしい景観を保っている。

目の前には、江戸川が流れ、向岸には、柴又の帝釈天様が見えてくる。矢切の渡しを利用するには、片道二百円の料金がかかる。さて、この野菊の墓を脚本し、放送劇の台本にしたのが、二十二期の、半田武一氏であり、これに企画、構成、技術、効果、そして放送劇の部員が一丸となって練習に励み、全国高等学校放送劇大会に出場し、

優勝したのは、欣快の至りであり、設立以来数年で、快挙を果たした事は、喜びに堪えません。

例えば昭和二十五年夏頃、三商が高等学校放送研究会、実験高校に指定されたことは、名誉であり、是非成功させなくては、なりません。折しも、朝鮮動乱、大型台風襲来、隅田川の溢れ、日本テレビの開局と、大きな時代の背景があったり、また近くでは深川三中の火災も話題になったりした年でもありません。

実験校の発表会は、昭和二十六年二月と決まりましたので、主催は都教育委員会、後援はNHK（日本放送協会）で、学校側ではご担当の先生、櫻井定夫先生様でした。早速部室を旧校舎の入り口二階にあるバルコニー付きの部屋が決まり、知り合いの棟梁を連れて部室に入り、防音付きの建築として、放送器具室、アナウンス部屋、放送劇部屋と、分けて、施工を依頼し、代金は、学校側が現金で支払って頂き、放送機具、各教室のスピーカ、放送器具も購入してくれて、放送部員を募集したところ、百四十名の応募があり、当時は、アナウンス、技術、放送劇、効果、演出、企画、音楽（レコード）編集等の課に分けて、新部員と共に二十六年二月の発表会に備えた。

一方涉外として、NHKの佐藤教育長様の打合せは、週一回私がお伺いし、ご指示を頂き、内容の充実を計った。又、小冊子の発行も、優秀な部員が当って下され、面目を施した。昭和二十六年二月当日は、天候に恵まれ、朝から大勢のお客様が来校され、三商の放送内容として、高校放送は、「斯くあらん」とばかり各教室、階段教室のスライド映写解説等色々な行事に部員を配し、質疑応答もあり、こ

れからの学校放送の課題を残し乍ら立派に行事を終了した事を、満足した行事であった。

今三商クラブ活動では、時の流れと共に、衰退の一途を辿っている中で、三商放送部は、昨年平成二十六年十月にも、品川プリンスホテルで部会を開き、旧交を温めている。又卒業して、大学に入り、放送関係の仕事に従事している方もいる。NHKアナウンスに一人、民法のアナウンスに一人、放送劇に活躍している三商卒業生も聞き及んでいる。これからの職業に放送関係の仕事は如何ですか。

私はここで新潟で卒業した校歌を思い出しながら、歌い、三商に感謝し、色々なお友達に感謝し、併せて先生方のお教えに頭を下げ、世の為人の為に貢献し、後継者の育成に努力したい。

業終し、果せし嬉しさは、ものの何に喩うべき

山なす人を押し分けて、終わりの心 うる心

裁判員制度六年

第28期 田端 彰

裁判員制度が平成二十一年五月二十一日に施行されてはや六年が経過した。

会報五十二号で経験談を述べたが、私なりの問題点七点（守秘義務・死刑判決・職免制度・裁判員のケア体制・裁判員を拒否できる制度・教育機関の授業・くじ引き抽選）について、どの様にスタートから六年経過した今日まで制度が改善されたか、きちんと

した説明がない。特に今回は守秘義務及び死刑判決について考えてみる。

・守秘義務

六年で約六万人の市民が裁判員（補充員含む）として参加した。評議の秘密に触れない形で裁判員としての職務を行った経験や感想を述べることは何ら問題はないのだが、守秘義務罰則違反により参加者が市民に裁判員についての会話が制限されているかの印象を受ける。市民どうしが裁判員についての話し合いが行われれば、より裁判官との考えの相違がわかり市民の立場からの意見が言いやすくなる。

どうしても先例重視、公平が量刑の原則を維持し続けるのであれば市民の裁判員に対する関心が薄れる。五月二十一日を裁判の日としてマスコミ等が市民中心とした裁判員制度についての報道をしていただきたい。

・死刑判決

裁判員裁判により死刑をやむをえないとした判決に対し、最高裁が死刑判決を破棄して無期懲役にしたのが三件あった。死刑が生命を永遠に奪う刑罰なので慎重に行うべきだが、多数決（裁判官三人のうち一人が賛成する。）で決める方法と、死刑については全員一致制を導入すべきで、何も知識のない市民が極限の選択を下すのは疑問である。市民が悩み抜いた末の死刑判決がプロの裁判官に覆されることは、複雑な思いを抱く恐れがあり、何のための市民参加なのか疑問である。参考意見としてもよいのではないか。

裁判員制度は裁判の進め方やその内容に国民の視点、感覚をよりとりいれ、司法に対する国民の理解

を深め、信頼が高まることを目的としているのだから、市民と裁判所とが乖離しないよう努力していただきたい。全くの素人の市民が刑事裁判に参加するのだから問題点が浮き彫りである。

卒寿を生きる

第10期 荻野文雄

戦後七十年の本年三月、宮内庁編修による『昭和天皇実録』第一巻・第二巻が刊行された。五年の歳月をかけて全十九冊が公刊される。昭和史に関心をもち小生は全巻を通読したいと切に思う。

戦前、天皇の動静は神祕のベールに包まれて窺うことができなかった。昭和という時代を考えると、その中心は昭和天皇であり、最大の事蹟はアジア太平洋戦争であった。われわれ軍隊体験者にとって天皇は現人神であると共に大元帥陛下であった。敗戦の翌年、昭和二十一年一月一日の年頭詔書で昭和天皇は「人間宣言」をされた。大日本帝国憲法は日本国憲法に改定され、天皇は元首から象徴に変わった。眼目の第九条戦争放棄はたんにアメリカ占領軍から押しつけられたものではなく、第一次・第二次世界大戦を経た西歐諸国の理想、世界史の理念が書き込まれている。

敗戦によって自ら得たものである。

戦前は兵役が成年男子の義務であり名誉であった。学校教練の成績が軍隊の階級制度に直結した。戦争末期には大学生が学徒出陣し、強制された特攻で戦死した。小生は徴兵された最後の世代で同期生にも戦死者は少ない。

聖戦と教えられた戦争は中国への侵略であった。それが収拾できなくなつて国力に圧倒的な差がある

米英との戦争に走り、国を滅ぼし、民を犠牲にした。あまりにも無謀であった。なぜ戦争をしなければならなかったのか、『昭和天皇実録』から読み取りたい。

作家の三島由紀夫は大正十四年生れで同年である。昭和四十五年十一月、楯の会を率いて市ヶ谷の自衛隊に突入し、自衛隊員に蹴起を呼び掛け、「ナセンス」と罵声を浴び、自死した。小節『英霊の聲』は昭和天皇の「人間宣言」に対し、天皇を神と信じて死んだ二・二六事件の反乱軍将校と神風特攻隊員の口を藉りて「などですめるぎは人（ひと）となりたまいし」と呪詛している。管見ながら、三島が入営時の身体検査で虚弱のため兵役免除となったことが負い目となり、軍隊まがいの楯の会を結成したのではないか。純粹培養された世代の悲劇ともいえる。

卒寿に達し、三商教育の恩恵と感謝していることの一つに冷水摩擦と共に初代校長吉澤徹先生の教育方針であった「歩く」ことで鍛えられたことである。歩くことが小生の健康法であり趣味である。日課として一時間位をできるだけ強歩で近くの丘陵や川畔を歩いている。少なくとも歩いている間は、つまらない悩みなど忘れて気分が良くなることを実感する。最も好きなコースは好天の日に鎌倉から辻堂に至る湘南海岸の浜辺を裸足であることである。由比ヶ浜、七里ヶ浜、江の島、片瀬・鶴沼・辻堂海岸。青い海、白い波、砂浜。

太陽の光を浴び、潮風に吹かれながら深呼吸すると野生の生命力が甦ってくるように感ずる。稲村ヶ崎に至る坂を越して白雪を冠した富士山が雄姿を現すと気分は最高である。終着近くになり流石に草臥れるが夕焼けに染まった美しい海原を眺めると元氣

を取り戻す。

自分の力を超えた大自然の存在を身にしみて感ずる。歩くことへの功德である。

「生ぜしもひとりなり、死するも独なり」。一遍上人の法語である。人間は本質的に本来孤独な存在だと説いている。自分が孤独で寂しいから人の寂しさも解り、共感と同情が成り立つ。老人は、ただ老人であるというだけで嫌われる。今に始まったことではない。老いの坂の険しさが増すにつれ、われわれ老人にとつて最も必要なことは、氣力の強さだと考える。老いの現実に落ち込むことなく、自分の生き甲斐を最後まで楽しみ、少しでも他者や地域の役に立ちたいと願う。

「犀の角のようにただ独り歩め」仏陀。

昭和二十年三月十日

第23期 三矢和久

その時、私は深川の三好町に住んでいた。前夜から空襲で防空壕に入りっぱなしであったが、この夜も警戒警報発令から空襲警報になり、敵機来襲と続いた。

この夜はいつもと違い、B29の編隊の機数が多く、不気味な感じだった。そのうちB29から細長い物体が落ちてきた。焼夷弾である。爆弾は綺麗に光って落ちてくるが、焼夷弾は黒く不気味だった。

一緒に防空壕に入っていた人たちも、一人抜け、また一人抜け、私たち親子が残っただけとなった。「和坊にげよう」と母が私に声を掛け逃げ出したが、もうあたりには人は見えず、火が押し寄せてくるので、火の無い方に逃げたが、どうしようも無く、公

園に入った。真ん中であつた石造りの公衆便所に逃げ込もうと思ひ行つたが、既に中には人がいて、私たちを入れるかどうかもめていたようだったが、子供だから入れようと決まってくれた。これ



で助かったのである。このあと入れてくれと何人もきたが入れてもらえなかった。夜が明けて周辺をみれば、すべて燃え尽き、焼け焦げた木ばかりが目立っていた。そこから、父親の勤め先の錦糸掘まで歩き、一緒になることが出来た。

その道筋の電車通りでは架線は落ち、真っ黒な物体がごろごろと転がっていた。焼死体である。その間を抜け錦糸掘まで歩いたのである。母親は関東大地震の時も深川に住んでいて、掘割に飛び込んだり、被服廠に入った人が助からなかった事を知っているのが、助かった一因でもあつたと後になって思った。

母とは、ほかの家族とは違った歴史がある。昨年、



その辺を散策したが、母校の元加賀小学校が来年創立百周年になる横断幕が目立っていた。また、住んでいたところも特定できたのが何故か嬉しかった。

最後の投資、人材育成!

第29期 西方勇雄

証券マンからの贈りもの

私事で恐縮ですが、毎年8月の誕生日になると、自ら千羽鶴を折って贈ってくれる人がいます。また、お寿司の太巻きよりも太い位の、毛筆の巻き手紙を認めて贈ってくれる人もいます。さらには、私のルーツ系譜の調査資料や、昭和18年から71年間の誕生日の日経新聞一面のコピーファイルに、解説を記して贈ってくれた人もいました。驚いたのは、妊娠中の妻に男子が生まれたら、不肖私めの名前をつけたいので、許可を頂きたいと言ってきた人がいたことです。

これらの人達は全てモーレツな証券マンで、一流大卒の幹部候補生です。ウィークデーには私宛に、毎日4〜5社から電話がかかってきます。

法人では投資はしない

私の本業は通信教育・通信販売業で年商170億円程の中堅企業ですが、65歳の時に愚息に代表権を譲り、現在ではオーナーとして会長職に就いております。

私は、事業の一環としては基本的に株式や商品などの投資は行わないことにしています。何故ならば、自己の企業努力の及ばない大きな景気変動や、グローバルな諸問題の勃発による経済不況によって、いつ大暴落、大恐慌に見舞われるかわからないからで

す。

企業と言うものは規模の大小よりも、永遠に存続させることが重要であり、長期安定こそが存在価値であると私は思います。

消費者から喜ばれ、従業員とその家族を守り、そして取引先や利害関係者と友好関係を保ちながら社会責任を果たして行くことこそ、企業のあるべき姿です。利益追求はそのために必要なのです。

投資や投機は、一瞬にしてこれらを失う危険性を孕んでいます。企業経営というものは、賭け事ではありません。

人材育成を依頼される

従って、毎日かかってくる証券マンからの電話は、飽くまでも個人的なものなのです。

振り返れば、私が株式投資を始めたのは第1回目のNTT株放出の前ですから、もう30有余年になります。'87年NY発のブラックマンデーも経験し、高慢の鼻をへし折られたこともあります。その後も大小様々な起伏を踏んで今日を迎えています。

この間、勿論赤字の年もありましたが、ここ数年の利益は人様に言うのとはばかる位、莫大(?)なものでした。

投資の売買決定は全て自己判断で行っています。彼らからの電話の内容は、幹部社員としてのあり方、マネジメントや人生論などについて語り合う事がほとんどです。そのことを知ってか大手証券会社の役員からは、人材育成の研修や、幹部社員養成の講演など、カリキュラムを組んでお願いできないかと懇願されますが、今のところお断りをさせて頂いています。私が経営コンサルタント唯一の国家資格である『中小企業診断士』の資格取得者でもあることを、

知っているからかも知れません。

高額納税者にランクイン

小社は、平成元年に私一人で創業しました。必ずしも順風満帆とばかりには参りませんでしたが、『現状維持は、退歩である』、『不可能とは、為さざるこ』とである』を社是として、『気力』『気迫』『気概』を持つて業務を完遂し、創業3年で小さいながら自社ビル(第1ビル)も所有しました。

爾来、比較的順調に業績を伸ばし、売上も右肩上がりに増大しました。現在では持株会社を含め、グループで全七社を擁するまでになっております。

私も、新聞の一面に発表される高額納税者番付の100位以内に4回ランクインしました。平成16年からは個人情報保護法の施行により未発表となりましたが、それまでは全国32位を筆頭に、50位以内が2回、100位以内も2回、また101位というものもありました。勿論この納税額は、法人所得税や個人でも地方税を含まない、全く個人としての国税分だけです。

当時は、ユニクロの柳井正さん、ソフトバンクの正義さん、楽天の三木谷浩史さんよりも、ほとんど私の方が上位にありました。

人材を3分類、その特徴

企業経営で重要な3つの要素と言えば、『人』『物』『金(かね)』ですが、その中でも最も大切なものは、『人』つまり『人材』だと思えます。

私は、さらにこの人材も、その『材』の文字を置き換えることによって、3つに大分類できると考えています。諸説あるようですが、私は先ず最も大切な一番目の人材は、その材の字を『財』に置き換えて『人財』とします。この人達は、企業にとって掛け替えのない宝の人財でして、無から有を生み出すことの

できる人達です。改善、発見、発明、開拓などを行い、新たな利益を生み出すことのできる人財です。

二番目の人材は、その材の字を存在の『在』の字を当てはめます。この人達は定時勤務者で、ビジネスマンと言うよりは、サラリーマンといったタイプです。一応言われたことはきちんとかなすが、それ以上でも以下でもない人達です。「まあ、会社に存在することを許してやるか」といった人在です。

さて三番目の人材は、その材の字を『罪』に置き換えて『人罪』とします。この人達は、不平不満を言ったり、人の和を乱したり、陰日向のある前向きでない人で、文字通り罪な人達です。企業からは即刻辞めて欲しい人罪です。案外この三番目の中には、超一流大学卒の勉強のできる人も入っています。多少の知識をひけらかして喋るのは2人前だが有言不実行で、企業との一体感の持てない自己中心的な人種です。このことは、人生での学ぶべき科目数は無限量だということを物語っています。特に現代の学校教育は学問は教えるが、倫理、道徳、立志と言ったことについては、あまり教育していないのが現状です。今からでも遅くはありません。自己企業のみならず、日本国の繁栄のためにも、各種法人がこの辺りの教育を行っていくことが使命ではないか、と史料します。

人財を増やすべく著書執筆

企業というものは株式投資はしなくても、人材育成という投資だけは、何よりも最優先に行うべきです。一番目、二番目、三番目の人材の割合は、一説によると20%対60%対20%だそうですが、これをできるだけ一番目の人財グループに引き上げ、三番目の人財を限りなく零にする努力をしなければなりません。

せん。そして、少数精鋭のヤル気集団の企業組織に、仕上げていくことが肝要です。

私も、自己企業の社員や証券マンの教育指導に留まらず、近い将来もう少し広く管理職者の育成や、経営幹部の養成のために、微力ながら役立つビジネス書を、執筆したいと考えています。

例えば、『こんな管理職は辞表を書け!』とか、『あなたも社長、重役になれる!』などのタイトルの書籍を出版し、企業の安定存続のために、少しでもお役に立てれば、幸甚であると考えています。そろそろ最後のご奉公、最後の投資となるかも知れません。

人生いろいろ 数字もいろいろ

第22期 荻野弘康

*はじめに

「人生いろいろ 男もいろいろ 女だっているいろいろ 咲き乱れるの——」 島倉千代子さんのヒット曲ですね。彼女も 山あり 谷あり の人生でしたが、明るく楽しく歌ってくれましたね。学校出てから十余年といいますが「小生は、昭和30年/22期生です」今年で60年を迎えました。

***ソロバンと簿記の人生です

三商時代に学んだ商業科目を活かすべく中央大学に進学し、税理士となり、税理士業務も52年目を迎えました。

納税者の権利擁護と事業経営の支援を使命とし、多くのクライアントに支えられ、定年もない職業に就けたことは母校三商のお蔭だと感謝の日々を楽しく送っています。

平成4年に立ち上げた三商会計人会は、三商卒の

税理士、公認会計士が150名を超え(未入会者を含め)ています。他の商業高校は50名程度であり、天下の三商にふさわしい結集、成果でありました。

***良い数字

数字には、良い数字と悪い数字があります。

テレビ番組の「徹子の部屋」は、一万回を迎えることとか、「笑点」が四千五百回を迎えるとか、スポーツでも、アマ/プロでも沢山の素晴らしい数字が並んでいますね。

母校三商も、珠算大会や簿記のコンクールでも、東京大会、全国大会で度々優勝して、全国の商業高校の中でもトップクラスに評価され、経済専門誌「エコノミスト」の平成27年2月号に紹介されました。

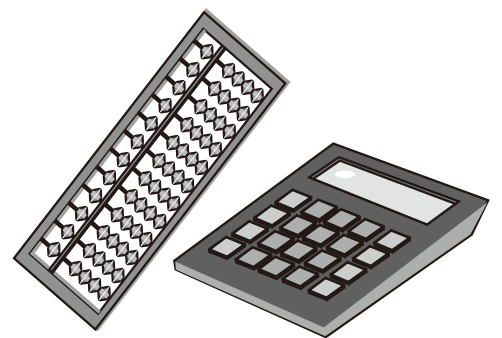
***悪い数字

数字には悪い数字もたくさんあります。

*世界的な大会社「東芝」の有価証券報告書を巡って、決算書表示の会計処理や金額について検証の委員会を設置して、検討を始めるという。

最大の問題点は、昨年までの決算書を誰が作成し、誰が検証していたのか(公認会計士監査/弁護士)の法務検証)も、問われることとなること明確に想定される。

*三菱UFJ銀行の支店長代理の横領事件(11年にも及ぶ)については、住宅ローンとサラ金返済のためだという。金融のプロがと呆れるが、銀行自身の内部管理については、ホンマカイナと呆



れてしまえばかりである。「同様の事件がみずほ銀行にもありましたね」

*各種の団体でも、事業計画の推進を巡って、ガリガリ―我利我利―の発言や誘導があり、油断大敵ですね。気をつけましょう。

***むすび

時代の進化に伴い、商業、工業にも大きな変革があり、我が国は多くのノーベル賞受賞者を輩出しているが、科学、化学の進化は、世界の平和と人類の幸せを目指すものでなければならぬ。

母校三商も、創立八十年を超える名門校である。後輩各位も、それぞれの個性を活かして、世のため、人のために良い数字を創る人材として大いに活躍してもらいたいと願うものである。



第19期 木戸隆吉

平成十二年六月、江東区新大橋二丁目二十番地の住居から、松戸市中矢切に引越の支

度をしていく頃、同期の同窓会事務局長、岩瀬源先生より表題の会があるので、同期の幹事諸氏へ連絡して欲しい旨の手紙を受け取ったので、早速同期生三十名近くの方々に、案内状を出しました。七月二十日、二十一日、二十二日の三日間の催しなので、初日に歩いて五、六分のところの、武野マンションに向かった。午前十一時頃には、受付があり三商OB、特に十六期、二十四期には、矢島先生がクラス担任であった関係で、入口が賑わっていた。この武野マンション一階は、落語、円楽師匠一門の若手登竜門で、毎月一日から十日迄、寄席を開

いていた場所で、私も近くでもあり、二、三回入ったこともある場所でもあった。

受付を通りぬけて、廊下のように仕切られ、左右に作品が展示され、四十数点の絵が、見事に色どられていた。矢島先生は、確か八十五歳を迎えるご高齢であったと思う。案内状には、お好きな絵があれば、お頒け致しますという、文言が記してあったので、先生はきつと六十一歳から作品を、各地へ出張し、熱き魂と執念をもって、画き続けたに相違ありません。その作品を同窓生に、お頒けしたいというお気持ちには、ご心中察するに余りある心境があると思

いましたので、素晴らしい作品をひと通り鑑賞して、家に帰り最近買求めた「ビクタービデオ」を取り出して、録画して、先生が寂しがらず、いつまでも作品が手元にあるようにお願い、翌日に備えました。すべて、記録に残るように、一巻のビデオに時間を掛けて、構図をしっかりと撮り、左、右、丁寧に描かれた部分等、念入りに撮影いたし、一つのビデオに収録した。又、その中には、受付の状況、展示品を鑑賞される会場の同窓生男女の状況も、含まれております。撮影中に気がついたことは、先生の絵は非常に細かに描写し、色彩がよく、繊細なる「タッチ」は見事なので、先生は大正四年十二月何日生まれでいらつしやいますかと伺ったところ十九日と告げられましたので、私の四柱推命学を調べたところ、「申の日」に当りました。

ソニーの井深様も申年申の日に生まれて細かい「トランジスタ」製品で有名になった方です。ウォークマンラジオも今私は使っています。又、因みに、二代校長今村直人先生も、以前の会報に載せた一白水星の、明治二十四年十二月二十四日「卯年、子の月申の日」でした。そしてお住まいも同じで、杉並区



矢島 幸先生 天沼三丁目でした。奇遇でした。さてこの収録ビデオを、三商教職員の旁々が、鑑賞され、絵画の出来栄えの良さを、同窓会報に寄稿し、往年を偲ばせて下されば、幸甚と存じます。(以下 次号へと続く)

矢島 幸先生のプロフィール

1915年会津生まれ、福島師範学校、日大立正大卒業。
都立第三商業18年、都立台東商業高校教頭6年、世田谷用賀中・小金井一中・杉並高南中を校長として10年歴任。
定年退職後、財団法人産業教育振興中央会事務局長として15年。
現在は趣味の生活を送る。

佐藤義美記念館を訪ねてきました

第19期 中野貞三

昨年の同窓会報に同期の大村彦次郎君が佐藤義美先生と八期の田村、北村、加島お三方の事を書かれていました。私は平成十三年から十六年迄の四年間同窓会の事務局を担当しましたが、その際同窓会報のバックナンバーに目を通し、佐藤義美先生や八期の方々の事を知りました。何時かは記念館を訪ねたいと思っていました。

一昨年十一月に昨年のスケジュールを決めた際、



佐藤義美先生

十一月一日・二日に大分・別府のウォーキング大会に参加の予定を組んだので、翌三日に記念館を訪ねる事にしていました。

佐藤義美は、まいごのまいごのこねこちゃんと呼ばれる「いぬのおまわりさん」の作者。記念館の所在



佐藤義美記念館（大分県竹田市）

する竹田市には荒城の月で有名な岡城や軍神広瀬中佐を祀っている広瀬神社があり、荒城の月の作曲家瀧廉太郎の記念館もあります。

佐藤義美の記念館では作品集等を購入しましたが、その中で生誕百周年に出された生涯の記録集に三商時代の記述があるので以下に抜粋。

昭和七年（一九三二）義美が早稲田大学院を修了した頃は、アメリカの大恐慌の影響で日本は大変な不況時代。普通では就職が難しかったが、父平太郎が文部省にいた関係で教師になる事が出来た。

義美は女学校を希望していたが、父は「両家の子女をたぶらかしてはいかんから、男子学校にしなさい」と、越中島の東京府立第三商業学校に就職した。

この三商で義美は、戦後日本の現代詩の旗手になる田村隆一・北村太郎などに詩について話し、詩作の喜びを教えた。

三商時代の義美のニックネームは、「西洋オバケ」。田村隆一の命名だった。隆一は大学時代、義

美の家（といっても父の家）に半年ほど下宿したことがあった。その時のことを次の様に書いている。

「ぼくが引越した後、東京高師の教授をしておいでだったお父さんに、ぼくは書齋に呼ばれた。おそるおそる参上すると、ヒゲのお父さんは、いかめしい顔をして、おっしゃったものである。『義美には、どんなことがあっても、金を貸してはなりませんぞ』

先生は浪費家であった。そのくせ お金がなかった——。

まいごの まいごの こねこちゃん
 あなたの おうちは どこですか
 おうちを きいても わからない
 なまえを きいても わからない
 じゃん じゃん じゃん じゃん
 じゃん じゃん じゃん じゃん
 じゃん じゃん じゃん じゃん
 ないてばかりいる こねこちゃん
 いぬのおまわりさん こまっちゃまって
 わん わん わん わん
 わん わん わん わん
 わん わん わん わん

以下は小生の近況です。

二十四年前に始めたウォーキングは全都道府県を歩き尽くす二巡目に入り、日本百名城は一年十カ月余りで終わり六百四番目の登城完了者となりました。毎年十二月に行われている日比谷公園〜横浜赤レンガ倉庫間三十四kmウォークは続いています。八十一歳を超えた今、何才迄三十kmが歩けるか？脚力の保持に努めて行きたいと願っています。還暦の年に始めたD・Bウォーキングクラブは現



在会員百十四名を数え二十一年目、毎月二回の例会は三百四十回、毎回十km〜十五kmの見どころ多いコースで実施しています。

ご希望の方左記へ。会報を送ります。

〒133-0056

東京都江戸川区南小岩7-38-11

日本ウォーキング協会 加盟

日本市民スポーツ連盟 加盟

D・Bウォーキングクラブ

代表 中野貞三

TEL 03-3658-6341

FAX 03-3658-6340

Eメール: ta_nakano@nifty.com

次号の投稿記事を募集します

— 会報編集部では、同窓生の皆様から広く寄稿文を募集しております。 —

エッセイ（随筆）・旅行記・俳句・短歌などの文学作品・学生時代の思い出など、ジャンルは問いません。また、筆者近影や文章にちなんだ写真などをご同封いただければ、文章とともに掲載いたします。

— 募集要項（来年度発行分） —

締切 平成27年5月末（目安）

①直筆原稿—同窓会事務局へ郵送またはファックスでお送りください。

②データ原稿—同窓会ホームページのお問い合わせよりご送信下さい。

※住所・ファックス・URLは30ページご郵送物で、返却希望の場合その旨をお書き添えください。

※内容により、掲載を見合わせ場合があります。ご了承ください。

三商 Information (母校の今)

改修工事全行程終了



平成24年から始まった校舎改修改築工事、小紙前号にもご紹介しました通り26年のゴールデンウィーク明けに、完成した校舎に引越しました。しかし、それまで使用していたプレハブ校舎の撤去や外構工事などは引き続き行われ、体育の授業や運動部の活動などは、不便を強いられていました。それも平成27年3月には校庭の整備も終了し、すべてが新しく生まれ変わりました。前住の岩瀬会長ご挨拶でもふれた「言語能力向上拠点校」の懸垂幕も誇らしく、整備された校庭と白く眩しい校舎が、越中島を訪れると迎えてくれます。

現在の三商生が行っている事



三商舎任にあたって(創立87年の伝統校) 校長 中山 博之

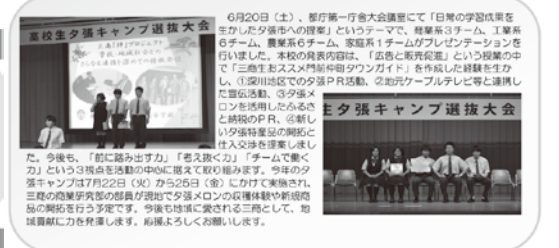
誰もが、自分が学び、青春時代を送った学校、母校として生涯かかわりをもつ学校が何れまでもあります。よい学校に卒業することを目指すのは自然な心情です。入学してよかった、卒業してよかった、といわれる学校づくりに生徒、教職員が一致協力して取り組み、本校が地域に愛され、なくてはならない学校とすることが自分に課せられた使命であると感じています。

本校は、平成30年1月に創立90周年を迎えます。生誕90周年に、新しい一歩が始まるという卒業生からの期待の大きな声に、各職に携わり、三商生として今後以上に高校生活を自己責任で、誇りを持って欲しいと思います。また、自信と誇りを持つために、次の三つのことを目指しています。

第1に、目的意識を持って各々の公認規定・賞状に挑戦し取得することは、その過程に於ける努力と相まって、自信を得ることです。第2に、豊かな人徳性を養うために、部活動へ積極的に参加し、高学年時代に部活動等で汗と涙を共にする仲間を持つことは、人生を豊かにし、生き生きと自覚を与えることです。試合・大会に参加すること三商の生き生きとした姿であり、誇りをもつことであるから、第3に、身なりを整えましょう。身なりを整えることは気持ちを整えることであり、形は心を求め、心は形を求めます。今までの伝統を継承しつつ、共に三商の新たな伝統を生徒たちと一緒に作って欲しいと思います。

「知識基幹社会」と言われる21世紀は、様々な学力・豊かな心・健やかな体の能力を重視する「生きる力」を各々が身につけていく必要があります。そこで、ビジネスに関する学び(ワーキング・経済・簿記・情報処理)の学習を、様々な実践を行っている本校に入学して多くの経験に当たっていただくため、引続き「SUN商タイムス」を発行いたします。本校に入学したばかりの皆さんを通じて、ビジネス教育の推進と、伝統ある三商舎高校の教育実践についてご理解いただければ幸いです。

三商「絆」プロジェクト
高校生出張キャンプ第1期選抜入会 広報PR部門 優秀賞
学校・地域社会とのさらなる連携を深めた情報発信



6月20日(土)、都庁第一庁舎大会堂にて「日本の学習成果を生かした夕張市への貢献」というテーマで、精華系3チーム、I華系6チーム、豊栄系6チーム、家福系1チームがプレゼンテーションを行いました。本校の発表内容は、「広告と販売促進」という授業の中で「三商生が社会とつながるツール」をテーマにしたプレゼンテーションを行い、(1)同じ地域での学生PR活動、(2)地元テレビ等と連携した宣伝活動、(3)出張メロンを活用したふるさと納税のPR、(4)新しい夕張市長選の応援に学生が活躍し、地元メディアに力をつけています。今後、さらなる連携を深めていきます。

◇三商では、ご覧の「三商タイムス」の発行をはじめ、ホームページやブログなどで情報発信をしています。また、去年には地元門前仲町の商店街を生徒たちで取材して編集した「門前仲町タウンガイド」も発行され、言語能力向上拠点校の指定にも一役買いました。

お馴染みの「ゆうばり応援団」の活動も校内にとどまらず、地域と協力しながら、地元への催しなどに参加して、商業活動の実地体験を兼ねて続けられています。

同窓生の皆さんも、このような後輩たちの活動に触れる機会がありましたら、ぜひ応援してあげてください。

久しぶりに自校の校庭で開かれた体育祭



商業科Q&A

Q. 商業高校と普通科高校とは、どこが違いますか。

A. 商業高校では普通科高校にはない商業科目を勉強しますので、商業に関する専門知識・技術を身に付けることができます。様々な資格を取得することでも、就職する企業からも期待力として入りに期待されています。

進路活動

6月3日(水)に、3学年を対象に進路懇談会が行われました。各企業(双葉・大学・短大・専門学校・公務員)に分かれて、卒業生からの話を聞き、大学・専門学校から個別面談も受け、講話及び授業を受けました。懇談会に参加した卒業生の講話の様子、ありがとうございました。

平成27年度 学校説明会等のご案内

※中学生は生徒手帳を持参してください。

- 招請公開 事前申込不要、上履持参(保護者、中学生、中学生の保護者)
 - 6月13日(水) 9時30分～(受付9時20分～)
 - 11月14日(土) 9時30分～(受付9時20分～)
- 体験入学 事前申込必要、上履持参(中学生、中学生の保護者対象)
 - 7月9日(土) 10時～(受付9時10分～)
 - 8月3日(日) 10時～(受付9時10分～)
 - 8月20日(木) 10時～(受付9時10分～)
- 文化祭
 - 10月3日(土) 入試前体験コーナーあり
 - 事前申込不要、上履持参
- 学校説明会 事前申込不要、上履持参(中学生、中学生の保護者対象)
 - 11月14日(土) 12時～(9時30分～開校準備中)も行っています。
 - 12月12日(土) 9時30分～(受付9時～)
 - 1月19日(土) 9時30分～(受付9時～)
- 都立高校の進学説明会
 - 10月26日(日) 会場は都立駒台高等学校
 - 東京都立都立高等学校説明会
 - 11月9日(日) 会場は都立田川高等学校

●学校見学について 事前予約を要します。上履持参。
 平日 月曜日・木曜日 16時～18時
 長期休業中 月曜日・木曜日 10時～

制服紹介

発行 東京都立三商舎高等学校 全社製履
 住所 〒125-0044 東京都台東区越中島3-3-1
 電話 03(3641)0380 FAX 03(3641)0879
 URL <http://www.daisanshogyo-h.metro.tokyo.jp/>

都立三商公式ホームページ
<http://www.daisanshogyo-h.metro.tokyo.jp/>
 又は都立三商で検索

公益財団法人東京三商会ご案内

巻頭1ページにもありますように、昨年11月に三商会館が竣工いたしました。

これからは、この三商会館を中心にして財団の主目的である「都立商業高校生への支援」を引き続き行ってまいります。

そして、三商会館では新たに不動産の賃貸事業を展開して公益事業に資するため、東京都に新規事業の申請を行い、無事4月1日より、事業認可を受けました。

これからは、三商会館の1階、2階を貸事務所として賃貸し、収入の途といたします。

また、3階を時間貸しの多目的室として開放してまいります。同窓生の皆様にも同期会やクラス会、会議等にご利用ください。詳しくは後述の三商会館使用規定をご覧ください。

東京三商会の成り立ち

三商は当初、越中島通り側現在の4割程（約三千八百坪余り）の敷地に作られました。（現在は約六千三百六十坪）

当時の校庭は狭く、初代校長の吉澤徹先生が川岸側の二千五百坪の土地を当時の地主である深川区（東京市）に折衝し昭和13年に買収しました。

この時の買収資金（92,933円8銭）はPTA会費を50銭増額し8年間積み立てた事により集められました。

当初、この買い足された土地や、その後創立35周年事業として建設された、新潟県六日町山寮（現在は閉寮し跡地を地元へ寄付）の健全な財産保全と、その資産を三商の教育に生かすために昭和39年、財団

法人として設立されました。

発足当時は川岸運動場と六日町山寮及び設立基金として、同窓会有志やPTA、講演会、三商縁の外郭団体からの寄付による百万円が資産でした。

その後、川岸運動場は昭和13年の取得から37年後の昭和50年に、4億2480万3501円で、東京都に売却されました。

この原資を資金運用する事で得た利益で、三商生への奨学金支給を長く行ってきました。

平成20年の法律の改正により財団法人などの活動や税制が変更されました。それに伴い財団法人東京三商会を平成23年4月1日に公益財団法人東京三商会に移行いたしました。公益に値する法人となることから運営も学校主体から変化してきました。また、

公益となることで、その支援対象も三商から都立商業高校全体へと範囲を広げました。

現在は基本財産（信託預金など）を持ち、その管理と運営にあたっています。

寄付のお願いについて

公益財団法人東京三商会では、広く皆様からの寄付を募っております。

現在も、資金運用益を主な活動財源としておりますが、常態化した低金利時代に突入し、奨学支援を維持するのが大変厳しくなっております。

お世話になった商業教育と、優秀な若者の未来を守り助けるために、ぜひ皆様のご協力を頂きますようお願い申し上げます。

詳しくは、財団事務所（左記同窓会事務局と同じ）までご連絡ください。

東京三商会概要

名称 公益財団法人東京三商会
 設立 昭和39年1月 財団法人設立
 移行 平成23年4月1日 公益財団法人移行
 主務官庁 東京都
 正味財産 540,316,959円
 （平成26年12月現在）

代表理事 杉本 光男（第26期）

役員 理事12名 評議員7名 監事3名

職員 常駐職員2名

主な事業 都立の商業科目を有する高校の生徒を対象とした育英奨学金給付

所在地 奨学生に対する指導育成
 東京都江東区牡丹1-12-8
 三商会館4階

連絡先 電話 03(3643)3392

ファックス 03(3643)3396

E-mail info@tokyo-tss.jp

東京三商会の活動実績

平成26年度 実績
 支給総額 6,120,000円（34名）
 （1名月額15,000円/年額180,000円）

平成27年度 予算
 支給予定総額 5,940,000円（33名）
 （1名月額15,000円/年額180,000円）
 7月末日より隔月末に四回に亘って、
 3ヵ月分を支給する。
 上記奨学金には返還義務を設けない。

他に優秀生徒の表彰制度あり。
 （各商業高等学校校長推薦による）

三商会館 3 階利用規程（抜粋）

公益財団法人東京三商会では、三商会館 3 階多目的スペースの貸し出しを行っております。同期会、クラス会はもちろん、各種会合にご利用いただけます。詳しい内容は財団事務局までお問い合わせください。

〔利用可能日時〕

夏季・冬季休暇日及び財団で指定した日時を除く、原則 9 時～ 21 時

〔用途の範囲と制限〕

会場の用途の範囲は、会議、研修会、講習会、集会等とする。

次の各号に掲げる行為での利用は禁止とする。

- ① 政治活動、宗教活動などの思想的背景を持つ活動。
- ② 物品の販売を主目的とした利用。
- ③ 不特定多数の人が集まる集会。
- ④ 当財団に不利益をもたらす利用。
- ⑤ その他、当財団理事長が不適切と判断した利用。

〔多目的スペース概要〕

場所 東京都江東区牡丹 1-12-7 三商会館 3 階

面積 A 室（西側）29.1㎡ B 室（東側）22.7㎡ 全室 51.8㎡

〔会館利用料〕

	A 室（大）	B 室（小）	A B 室
1 単位（4 時間）	700 円	500 円	1,000 円
2 単位（8 時間）	1,300 円	900 円	1,900 円
全日	1800 円	1200 円	2,700 円
延長（1 時間毎）	200 円	150 円	300 円

〔施設利用料〕

	区分	金額	摘要
椅子	1 回	20 円	1 脚あたり（全 60 脚）
テーブル	1 回	100 円	1 台あたり（全 10 台）
プロジェクター	1 回	6000 円	スクリーン含む

その他設備：ホワイトボード・ハンガーラック・マイクアンプセット・ウェルカムボード

〔予約・利用方法〕

東京三商会事務局（三商会館 4 階）に電話、FAX、メール等またはご来館いただきお問い合わせください。（右ページ参照）

予約は利用予定日の 60 日前から当日まで可能。予約が重複した時は先着順となります。

利用料は、使用当日までにお支払いください。

〔その他・注意事項〕

飲食の持ち込みは自由です。宴会等ケータリング業者をご紹介します。

全館禁煙です。喫煙は会館外にて携帯灰皿等お使いください。（吸い殻の投げ捨ては厳禁です。）

駐車場はありません。（近隣にコインパーキングあります。）自転車、バイクは 1 階アプローチに止めて下さい。

使用後は原状回復をお願いします。ゴミは原則お持ち帰り願います。

火気の使用は原則できません。（使用希望がある場合、事前にご相談ください）

激しい騒音、振動など近隣の迷惑になる行為は一切禁止です。

建物、什器の著しい汚損や破損、紛失などがあった場合、実費を請求することがあります。

その他、不明な点は事務局にお問い合わせください。

竣工間もなく11月に開かれた同窓会総会は、三商視聴覚室で開かれ、その後、三商会館に移動して懇親会が開かれました。
総勢50余名が、多目的室にて祝杯を上げました。



平成26年10末日、建築会社との引き渡しの様子です。
※この部屋は2階になります。

懇親会で盛大に鏡割り



三商会館3階 利用状況

クラブのOB・OG会にも使われています。先輩後輩の縦の繋がりを交えた思い出話には同期会・クラス会と違った趣があります。上の写真は剣道部、下は庭球部の会合です。



同期会、クラス会も数多く開かれました。特に母校を見学してから移動して三商会館で乾杯、というパターンが数例あり、皆さん大変喜ばれていました。20名～40名程度の集まりに適しています。写真は第28期3年2組「三竹会」の皆さんです。



プロの講師を招いて、講演会も開かれました。長テーブルを並べ高座に見立て、その脇にビールケースを裏返した階段を取り付けて、手作り感満載の寄席が出来上がりました。



三商生の補習授業に利用されました。簿記検定試験の前日の土曜日、三商会館は試験会場になるため、三商生でも校内に入る事が出来ません。そこで、直前補習の教室として三商会館を使用しました。



ホームページのご案内

投稿記事随時募集中!!

同窓会ホームページも立ち上げから、丸二年が経ちました。

三商同窓会創立80周年事業の一環として、若い世代に同窓会活動を広く知ってもらおう事。常に同窓会や同窓生たちの新鮮な話題をタイムリーに伝える事。同窓生同士の繋がりの架け橋になる事。以上のような期待をして立ち上げられましたが、概ねその役割が達成されていると自負しております。

高校の同窓会ホームページとしては、情報量、更新頻度とも他の高校同窓会のそれより群を抜いているものと思っておりますが、その内容のほとんどはホームページ委員の文筆や取材を通じた情報発信によるものとなっております。

今後は、広く一般同窓会員の皆様の声を載せて参りたいと思っておりますので、同期会・クラス会などの会合報告、自由な内容での投稿文などをお寄せ頂けます様、ホームページ委員一同お願い申し上げます。



投稿記事のページです。

紀行文、学生時代の思い出、日々思う事、俳句・短歌などの文学作品。ジャンルは問いませんので、ぜひ一筆お寄せください。

<http://tcsaa.jp/>

都立三商

検索



同窓会クラブ活動

続々増えていきます

家庭菜園の会・日本酒の会と二つのクラブから始まり、競馬・タブレット教室と、様々な同好の志が集まっています。随時お仲間募集、新規クラブの創設もお待ちしております。

人気のページ 三商酒場放浪記

もっともよく見てもらっているページが「三商酒場放浪記」です。月一ペースで、同窓生が経営する飲食店取材しています。7月現在で19回を数えますが、お伺いするお店を探すのが大変です。自薦他薦問いませんので、ぜひ同窓生のお店をお教えください。



校歌

作詞 前田 夕耕
作曲 山田 耕之
編曲 脇田 則之

都の空は明けたり今
希望は燃ゆる若きわれら
都立第三商業、ここに拠るや
日本の富を担ふわれら

富岳の雪を望む窓辺
理想は高し 若きわれら
都立第三商業、ここに居るや
都の栄えを築くわれら

東都の海の門にありて
心は潤し 若きわれら
都立第三商業、ここに立つや
江戸の誇りを継げるわれら



応援歌

作詞 多田 友宏
作曲 池内 政憲
編曲 青山 政憲

見よ三商の旗じるし
T.C.S.の行くところ
旭日洗ふ波がしら
ここに刻む若人の
勝算すでに吾にあり
頑張れ三商、頑張れ三商
(ふれ?ふれ?振れ!)

聞け三商の底ぢから
T.C.S.のはた風は
歴史が語るその誉れ
受け継ぎ来たる若人の
命の誇り吾にあり
頑張れ三商、頑張れ三商
(ふれ?ふれ?振れ!)

見よ三商の鉄の陣
T.C.S.の旗の下
正義に結ぶ和のころ
明るく強き若人の
凱歌はすでに吾にあり
頑張れ三商、頑張れ三商
(ふれ?ふれ?振れ!)



三商同窓会各事務局連絡先

各種お問い合わせ、郵送物等がございましたら、
左記にお送り又はお問い合わせください。

住所

〒135-0046

東京都江東区牡丹1-12-8 三商会館4階

電話 03(3643)3392

ファクシミリ 03(3643)3396

Eメール info@tcsa.jp

ホームページ <http://tcsa.jp/>

事務局は平日(夏季・冬季休暇除く)の午前9時
から午後5時まで、事務員が常駐しております。

三商同窓会報第五十四号

平成27年7月1日発行

発行者

都立第三商業高等学校同窓会

発行責任者

都立第三商業高等学校同窓会 広報委員会

編集者

東京都江東区牡丹1の12の8 三商会館4階

都立第三商業高等学校同窓会事務局

杉本 光男

電話 03(3643)3392

ファクシミリ 03(3643)3396

印刷所

株式会社 エーエム

フットウェア製造卸
丸喜株式会社 20期



代表取締役会長
河原啓介

本社
〒111-0032 東京都台東区浅草6-4-12
Phone:03-3876-1751 Fax:03-3875-6168
http://www.maruki-net.com
E-mail:k-kawahara@maruki-net.com

中華・洋食

南光軒

江東区牡丹 1-12-12 (35期 谷 泰一)
☎ 03 (3641) 7688

医療法人社団 飯ヶ谷内科クリニック

理事長 飯ヶ谷 清
医学博士 (第22期)

千葉県鎌ヶ谷市東道野辺5-19-15
TEL 047 (445) 8881

「人間と植物の共生社会」の実現を目指して
(社) 日本インドアグリーン協会員
東京グリーンサービス事業協同組合員

サンキグリーン産業株式会社

園芸装飾技能士
代表取締役 亀田 八千代 (第31期)

〒135-0024 東京都江東区清澄 2-15-5
TEL:03-3642-8714 FAX:03-3643-8732
E-mail : yachiyo715@shore.ocn.ne.jp

夜屋 03 (3833) 4529
文京区湯島 3-8-1
11時~14時半
17時~21時半

SAIKOU
菜肴
ますだ

かつ進

とんかつの申揚げ

湯島店 03-3833-0033
神田鎌倉橋店 03-3256-2984
外神田店 03-3832-2981

26期 増田進一郎
31期 増田トシ子

33期卒の方のお店です。ぜひご利用ください。
住所変更はクラス幹事・同窓会事務局にお知らせください。メール <33ki@tcsaa.jp>

3年2組	藤岡 拓	江戸政 寿司店 江東区東砂	03-3648-2737
3年3組	野口 隆	うなぎ・やきとりの店 江戸川区新堀	03-3678-8535
3年5組	田村幸司	田村 日本蕎麦店 福生市	042-553-4146
3年8組	長濱英行	喜楽 中華店 亀戸天神そば	03-3681-0563
3年8組	前田領市	鳥末 惣菜店 深川牡丹	03-3643-4129
3年8組	古山宏之	ロータス 喫茶店 日本橋高島屋裏	03-3271-8655
3年8組	坂口保夫	どんだん亭 お好み焼き店 森下	03-3635-4823
3年8組	高木利夫	川勇 うなぎ店 石原3丁目	03-3622-5592

第33期同期会有志一同

広告募集

同窓会報に広告を載せてみませんか?
会社・お店のアピール、同期会等に
来期会報発行にぜひ、ご協賛ください。
お問い合わせは、同窓会事務局まで。
(広告費は会報発行費補助、同窓生への発送費用に活用されています)

参考広告費 (当刊 53号の場合)

	面積	サイズ	金額
A	1 ページ	190×260	¥30,000
B	1/2 ページ	127.5×190	¥15,000
C	1/4 ページ	92.5×127.5	¥10,000
D	1/8 ページ	61.5×92.5	¥5,000
E	1/16 ページ	44.2×61.5	¥3,000

*ご請求は見本誌送付と共に振込のご案内を同封いたします。

小型生コン製造販売
日本工業規格表示認定工場

小野建材工業株式会社

代表取締役 小野 雄久
(第16期)

事務所 東京都江川区平井七丁目1番19号
電話 03-3611-4111(代) 15番
FAX 03-3611-4117
自宅 東京都江川区平井七丁目17番1号
電話 03-3611-9111 50番

中小企業、納税者の権利拡充に努めます。

税理士法人 荻野会計事務所

経営革新等支援機関
— 経済産業省 —

代表社員 荻野 弘康 (第二十二期)

東京都荒川区南千住五丁目25-14
〒116-0003
TEL: 03-3803-1232
FAX: 03-3805-1069
MAIL: zei_ogi@d3.dion.ne.jp

～同級生からのコメント～

昭和29年10月第1回全国高等学校簿記コンクール
に出場団体戦優勝都立三商(荻野・西脇・中川)
個人の部優勝(荻野弘康)

『両国の駅のおそばの大関庵
味も良ければ盛りもよいよい』

そば処 大関庵

19期 大関 守

JR両国駅西口
国技館通り中程

TEL.03-3631-0728

魚河岸

海老・貝仲卸

土方商店

土方敏之 (第29期)

〒104-0045 東京都中央区築地5-2-1
電話 & FAX 03 (3541) 8408

株式会社 エイケン

相模最獲 今 泉 清 (31期)

本社 東京都千代田区千代田
〒100-0001
TEL: 03-5561-1111
FAX: 03-5561-1112
支店 東京都千代田区千代田
〒100-0001
TEL: 03-5561-1111
FAX: 03-5561-1112

創業明治40年 下町の味を伝えて一世紀

うなぎ 川 勇

高木 利夫 (第三十三期)
元史学部

〒130-0011
東京都墨田区石原3-30-9
TEL: 03-3622-5592
FAX: 03-3622-5592



旬の肴

柏 俊太郎 (第35期)

〒136-0071
東京都江東区亀戸 6-23-10
カーサカッシーノ 1F
TEL 03-3682-0033

(第21期) 平林 慶雄
03 (3644) 4487

有限会社 平林油店
(エネオスフロンティア 特約店)

南砂SS (03)3644-6161
江東区南砂3-4-5
宇喜田SS (03)3680-2541
江戸川区宇喜田1223
自宅 (03)3644-4487
江東区南砂4-19-13

旨い 安い
下関ふど地鶏ちゃん

鳥 義

30期 氏家 賢

本館/墨田区石原3-17-3-101
電話 03-3626-4466
別館/墨田区石原3-17-3
電話 03-3622-8343
FAX 03-3622-8349
<http://e-sumaida.gr.jp/toriyosi/>



株式会社 杉本好二商店

代表取締役 杉本光男

第26期 (卓球部)

〒130-0002 東京都墨田区業平1-17-5

TEL 03-3623-2185

FAX 03-3623-1859

砂利・砂・セメント・碎石
生コンクリート・アスファルト 販売店

おしゃれエプロンメーカー

有限会社 篠崎

取締役会長 篠崎 清 (第22期)

〒272-0021 市川市八幡4-17-33

TEL047-334-5027

Fax047-334-5432

リサイクルショップ

てるてるぼうず

代表 大石 傑 一郎

(23期珠算部)

曳舟本店 〒131-0032 東京都墨田区東向島2-14-1

メゾンド大石1F ☎3616-2434(代)

自宅 〒111-0051 東京都台東区蔵前4-28-5 蔵前大石ビル4F

☎3861-0084 FAX 3861-0067

とぼへい
みっま

住所/130-0022

東京都墨田区江東橋
4-20-4

TEL/03-3631-5850

定休日:土曜及び祝日です

河西紀道

(第25期)

(墨田区銘品名店会)

手打蕎麦



有限会社 みのる不動産

都知事(12)21090号

公益社団法人 東京都宅地建物取引業協会 会員

代表取締役 三川 廣 志

(第34期)

■ 亀戸店 東京都江東区亀戸7丁目11番12号 京葉道路面
TEL(3684)5851(代) FAX(3684)5850
E-mail:mk@e-minoru.com

■ 本店 東京都江東区北砂7丁目4番3号 環状四号面
TEL(3644)7573(代) FAX(3640)2543

公認 不動産コンサルティングマスター

西 邨 昭 一 (第31期)

一般社団法人 千葉県宅地建物取引業協会

公益社団法人 全国宅地建物取引業保証協会千葉本部

専任相談員

〒260-0024 千葉市中央区中央港1-17-3 (千葉県不動産会館)

TEL:043-241-6671 FAX:043-245-0866

(自宅)

〒279-0042 浦安市東野2-6-1

TEL:047-353-0932 FAX:047-353-4533

アルミ建材・リフォーム工事
ガラス・アルミサッシ・スチールドア工事
都知事許可(般-18)第36530号

輝 今村 ガラス

(第22期) 今村 輝 男

〒110-0012 東京都台東区竜泉3丁目9番7号

TEL 03(3873)5927(代)

FAX 03(3873)6369

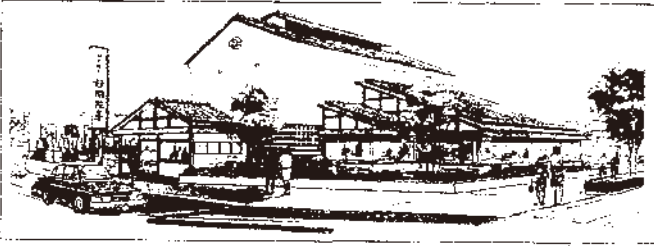
魚河岸
海老専門

平井 支店

宇田川浩一 (第49期)

〒104-0045 東京都中央区築地5-2-1

電話 03(3541)9307



	ベーカーズストラン マルコ	3656-5211
	MARUKO	3656-5629
	しゃぶテキ亭	5677-0101
	春江店	3689-0101
	葛西店	3677-8601

柴又街道 花炎亭

昭和36年卒 28期生
代表取締役 田中 稔

当店では、ご宴会・ご会合・法事や各種パーティー等人数・ご予算に応じて承っております。

営業時間 AM11:00~PM11:00

お食事処  **開花亭** 葛西店

江戸蕎麦打處
江戶時代より続く
伝統のわざと味
(第二八期) 粕谷 安孝

二階椅子席二〇名、椅子席一〇名にて
クラス会等にご利用頂いております
コース料理、鴨なべ、鳥すき等
揃えてお待ちしております

定休日 日曜日 第三土曜日
台東区浅草橋二―二九―十一
江戸通り浅草橋と蔵前の中程
電話 〇三(三八五)五四一二

あさだHP <http://www.asada-soba.co.jp>

創業 文久年間

素材の良さと
伝統の味を
守り続ける老舗

創業
文久三年



割烹 とよだ

東京都中央区日本橋室町
1-12-3
電話 03-3241-1025
(日・祝日休み)

橋本 敬(20期)
<http://www.toyoda.tokyo>



第22期 皆川泰藏
各種ご宴会・ケータリング・ご宿泊・ご婚礼に。

船橋市災害時帰宅困難者支援施設
船橋グランドホテル  

273-0005 船橋市本町7丁目11番地1号 JR船橋駅徒歩3分・駐車場 80台完備

TEL 047-425-1121 

www.funa-gh.co.jp  船橋グランドホテル

関西風お好み焼き
どんどん亭
 33期 坂口保夫



森下交差点角 すき屋並び
 定休日月曜日 営業時間17時~23時
 電話 **03-3635-4823**
 江東区森下2-18-1

細田木材工業株式会社



取締役相談役
 細田安治 (19期)



合法木材供給
 事業者認定
 [輸入協-037]

〒136-0082
 東京都江東区新木場 2-5-3
 ☎ 03-3521-8701
 fax 03-3521-8708
 e-mail: ceo@woody-art-hosoda.co.jp
 http://www.woody-art-hosoda.co.jp/



ISO9001



第十五期
同期生一同
 世話人一同

ラウンジ **翼** 江東区富岡 1-4-5
 03-3642-2830

馴染みやすく気さくな雰囲気をご提供しています。
 両店共通システム
1時間¥3500で飲み放題!歌い放題!
 営業時間 20:00 ~ ラスト ※税・サービス料込

おひとり様でも団体でも
 お仕事帰りに、二次会には是非ご利用ください。

江東区富岡 1-2-2
 03-3643-9530

ピュア
PURE
 ラウンジ

ホッと一息くつろげるお店
 焼き鳥居酒屋
 えどっこ
江戸娘



54期 宇都英美(藤井) 03-5245-8626
 17:30 ~ 23:30(LO) 日曜定休
 江東区富岡1-13-2
 東西線門前仲町駅 徒歩3分

中華喜楽

江東区亀戸3-44-16
 電話 03-3681-0563 **出前迅速**

天神様もお忍びで来るらしい! 亀戸天神そば
 定休日月曜日(祝日の場合営業)
 営業時間10時から21時 33期 長浜英行

総合印刷プランナー
Print&Bind's Solution **Office**
iwase

印刷の事なら何でもご相談ください
 企画・デザイン⇒印刷・製本⇒納品・発送代行

オフィス岩瀬
 第49期 岩瀬茂幸
 TEL/FAX: 03(3877)9520
 E-mail: s_iwase@jcom.home.co.jp

Thailand Japan Philippines Indonesia Thailand Japan Philippines
 Thailand Japan Philippines Indonesia Thailand Japan Philippines
 and Japan Philippines Indonesia Thailand Japan Philippines Ind
 id Japan Philippines Indonesia Thailand Japan Philippines Ind
 Japan Philippines Indonesia Thailand Japan Philippines Indone
 an Philippines Indonesia Thailand Japan Philippines Indone
 n Philippines Indonesia Thailand Japan Philippines Indonesia
 Philippines Indonesia Thailand Japan Philippines Indonesia Th
 ippines Indonesia Thailand Japan Philippines Indonesia Thail
 pines Indonesia Thailand Japan Philippines Indonesia Thail
 nes Indonesia Thailand Japan Philippines Indonesia Thailand
 s Indonesia Thailand Japan Philippines Indonesia Thailand
 ndonesia Thailand Japan Philippines Indonesia Thailand Jap
 onesia Thailand Japan Philippines Indonesia Thailand Japan P
 esia Thailand Japan Philippines Indonesia Thailand Japan Phi
 a Thailand Japan Philippines Indonesia Thailand Japan Philip
 Thailand Japan Philippines Indonesia Thailand Japan Philipp
 ailand Japan Philippines Indonesia Thailand Japan Philippines
 land Japan Philippines Indonesia Thailand Japan Philippines Ir
 id Japan Philippines Indonesia Thailand Japan Philippines Ind
 Thailand Japan Philippines Indonesia Thailand Japan Philippines

NEO 大衆食堂 **アジアの食卓**

ア

樋浦 理 (第48期)
 TEL: 03-3647-4709
 〒135-0013 江東区千田 22-5 サンハイツセンダ 102

東京魚市場 三水会

三商で学んだ商人道を基に営業しております。

会長	藤枝 精治 (24期)	幹事	土方 敏之 (29期)
副会長	鬼澤 好男 (25期)	〃	宇田川武志 (31期)
会計	加藤 晋一 (28期)	〃	中村 一好 (32期)

[三水会の歴史]

昭和25(1950)年発足	平成 2(1990)年10月20日 ホテルメトロポリタンにて創立40周年開催
40(1965)年10月17日 第一ホテルにて創立15周年開催	12(2000)年 スエヒロにて創立50周年開催
45(1970)年10月18日 椿山荘にて創立20周年開催	22(2010)年 インターコンチネンタル東京ベイにて創立60周年開催
55(1980)年9月27日 東京會館にて創立30周年開催	

18期 北原 郁夫	25期 鬼沢 好男(伊勢由)	29期 土方 敏之(土方)
19期 桐ヶ谷正保(㊦尾清)	26期 渡辺 照雄(渡福)	31期 宇田川武志(金)宇田川)
23期 井上 武久(て良)	27期 伊藤 隆悠(西保)	32期 中村 一好(増分)
24期 加藤 守宏(加藤)	28期 加藤 晋一(佃亀新)	49期 宇田川浩一(平井支店)
24期 藤枝 精治(尾藤)	28期 谷島 隆	

生活空間応援します

不動産のことならご相談ください。
住宅・事業用など
トータルサポート致します。



TEL:5628-1511 FAX:3636-2292

(公社)東京都宅地建物取引業協会会員 東京都知事免許(12)第26577号



大雄開発株式会社

〒136-0072 江東区大島1-29-6 アプローチ西大島101

代表取締役 松岡雄治(第26期)

物件情報満載HP

売買情報<http://www.daiyukk.co.jp> 賃貸情報<http://www.daiyukk.com>
『新着物件情報』・『オープンハウス情報』など掲載中です!!

2016年度 豊洲新市場開場(予定)

東京都中央卸売市場 築地市場 青果部卸売人

 **東京シティ青果株式会社**

取締役会長 石川 勲 (第22期)

<東京本社>

〒104-0045 東京都中央区築地5丁目2番1号
TEL 03-3549-9100 FAX 03-3549-9591

<千葉支社>

〒270-0023 千葉県松戸市八ヶ崎2丁目8番2号
TEL 047-348-2311 FAX 047-344-5590

<http://www.city-seika.com>

プロが選んだおいしいバナナです。

全国で販売中！



発売元 東京中央青果株式会社

〒104-0045 東京都中央区築地4丁目2番11号
電話 03-6226-6850 FAX 03-6226-6851

代表取締役社長 石川 勲 (第22期)

<http://www.tsukiji-banana.com/>

夢をかたちに・・・



中外徽章株式会社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-2

TEL:03-3294-3431 FAX:03-3294-3436

<http://www.chugaikisyo.co.jp>

相談役 古田 勝一 (第26期)



都立三商同窓会「初」の女性会長
第7代 岩瀬 和子 同窓会長

祝 公益財団法人東京三商会
三商会館落成

「生涯青春で有り続けたい」との願いから、第26期は
毎年同期会を開催しております。

第26期 同期会会長 古田 勝一